ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

多　意　匠　装　飾　仕　上　塗　材

ベルアート®シリーズ

施工要領書

STANDARD　APPLICATION　SPECIFICATIONS

ベルアート・・・・・・アクリル樹脂系
弾性ベルアート・・・・弾性アクリル樹脂系
ベルアートSi・・・・・セラミックシリコン樹脂系



エスケー化研

多　意　匠　装　飾　仕　上　塗　材

ベルアート®シリーズ

施工要領書

STANDARD　APPLICATION　SPECIFICATIONS

ベルアートシリーズの商品構成

ベルアート　　・・・　アクリル樹脂系
弾性ベルアート　・・・　弾性アクリル樹脂系
ベルアートSi　　・・・　セラミックシリコン樹脂系

■各種仕上げ

■特長/適用下地
性能試験成績表

■標準施工仕様

■施工上の注意事項/
各部位別の注意点と納め方

■危険情報と安全対策

■各種仕上げ …… 1～2
■特長 …… 3
■適用下地 …… 3
■性能試験成績表 …… 3
■標準施工仕様 …… 4～67

1. 使用器具…… 4
2. 施工条件及び下地調整(各仕上げ共通)…… 5～6
3. 下塗り(各仕上げ共通)…… 6
4. 主材塗り①(各仕上げ共通/外装)…… 7
5. フラット仕上げ(外装仕様) …… 8
6. 吹付タイル仕上げ…… 9
7. スタッコ仕上げ……10
8. ジュラク仕上げ……11
9. リシン仕上げ……12
10. ゆず肌仕上げ……13
11. ウェーブ仕上げ……14
12. ウェーブ2色仕上げ…… 15
13. スタンプ仕上げ……16
14. ラージスタンプ仕上げ…… 17
15. フォレスト仕上げ……18
16. トラバーチン仕上げ……19
17. ストーム仕上げ……20
18. くし引き仕上げ……21
19. スクラッチ仕上げ……22
20. フロート仕上げ……23～24
21. リバー仕上げ……25～26
22. フラワー仕上げ……27～28
23. ドロップ仕上げ……29～30
24. グラス仕上げ……31～32
25. ウッディー仕上げ……33～34
26. キャニオン仕上げ……35
27. ライムトーン仕上げ……36
28. ヘアーライン仕上げ……37
29. リップル仕上げ……38
30. ドロー仕上げ…… 39
31. テールL仕上げ…… 40
32. テールS仕上げ…… 41
33. シラスL仕上げ…… 42
34. シラス S仕上げ…… 43
35. プレスL仕上げ…… 44
36. プレス S仕上げ…… 45
37. プロヴァンス仕上げ…… 46
38. サンドストーム仕上げ…… 47
39. スクロール仕上げ…… 48
40. シラスAL仕上げ…… 49
41. シラスFL仕上げ…… 50
42. ファンシー仕上げ…… 51
43. ボルテックス仕上げ…… 52
44. シラススムース仕上げ…… 53
45. スプラッシュ仕上げ…… 54
46. フェザー仕上げ…… 55
47. ジェラート仕上げ…… 56
48. ラフウェーブ仕上げ…… 57
49. ラフウェーブ2色仕上げ…… 58
50. ウェザードロック仕上げ…… 59～61
51. プレスL2色仕上げ…… 61～62
52. サガン仕上げ…… 63～64
53. サガン2色仕上げ…… 65～67
54. 超低汚染仕様（オプション）:ベルアートシリーズ共通 …… 68

■施工上の注意事項…… 69
■各部位別の注意点と納め方…… 70
■危険情報と安全対策 …… 71～72

吹付仕様

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi標準パターン

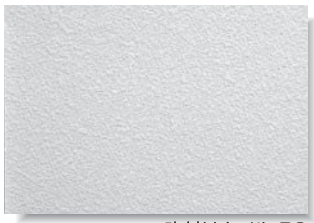
Spray Finish



Stucco ※スタッコ P10
骨 シボサンド　施 スタッコガン



Stucco (Press) ※スタッコ(押さえ) P10
骨 シボサンド　施 スタッコガン



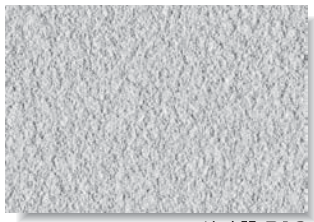
Spray Tile 吹付けタイル P9
骨 無し　施 タイルガン



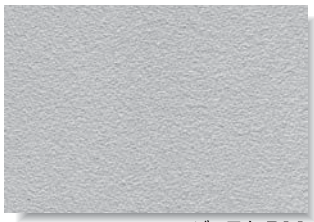
Spray Tile (Press) 吹付タイル(押さえ) P9
骨 無し　施 タイルガン



Flat フラット P8
骨 無し　施 SKKスーパーガン（万能ガン）



Orange Peel ゆず肌 P13
骨 無し　施 SKKスーパーガン（万能ガン）



Juraku ※ジュラク P11
骨 寒水石1厘　施 SKKスーパーガン（万能ガン）



Lithin ※リシン P12
骨 シボサンド　施 リシンガン

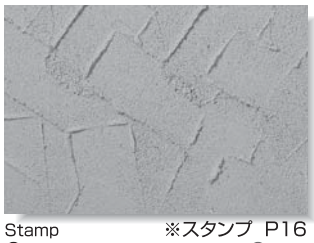


Weathered Rock ※ウェザードロック P59~61
骨 寒水石1,3,5,8厘　施 SKKスーパーガン（万能ガン）・木ごて

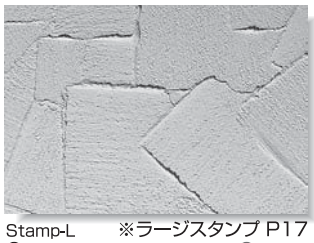
こて仕様

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi標準パターン

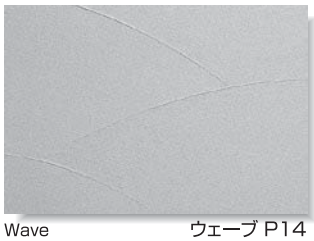
Trowel Finish



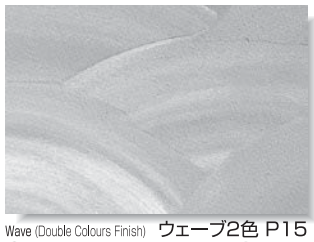
Stamp ※スタンプ P16
骨 シボサンド　施 木ごて



Stamp-L ※ラージスタンプ P17
骨 寒水石1,5厘　施 左官ごて



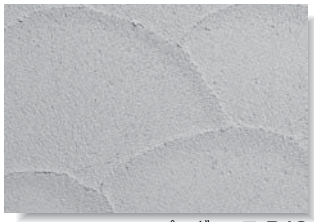
Wave ウェーブ P14
骨 無し　施 左官ごて



Wave (Double Colours Finish) ウェーブ2色 P15
骨 無し　施 左官ごて



Scroll ※スクロール P48
骨 寒水石1,5厘　施 SK仕上げごて



Provence ※プロヴァンス P46
骨 シボサンド　施 左官ごて



Rough Wave ※ラフウェーブ P57
骨 寒水石1厘　施 左官ごて



Rough Wave (Double Colours Finish) ※ラフウェーブ2色 P58
骨 寒水石1厘　施 左官ごて



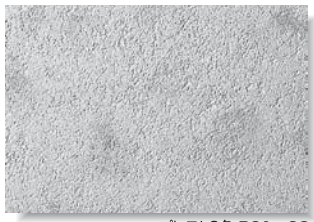
Fancy ※ファンシー P51
骨 寒水石1,5厘　施 左官ごて



Press-S ※プレスS P45
骨 シボサンド　施 左官ごて



Press-L ※プレスL P44
骨 寒水石5,8厘　施 木ごて



Press-L (Double Colours Finish) ※プレスL2色 P61~62
骨 寒水石5,8厘　施 木ごて



Gelato ※ジェラート P56
骨 寒水石1厘　施 左官ごて



Forest フォレスト P18
骨 無し　施 左官ごて



Sand-Stone ※サガン P63~64
骨 寒水石3厘　施 左官ごて・SKデザイン刷毛



Sand-Stone (Double Colours Finish) ※サガン2色 P65~67
骨 寒水石3厘　施 左官ごて・SKデザイン刷毛

●写真は印刷のため、実物と多少異なりますので、ご注文の際は別途塗板でご確認ください。
●大壁面に施工の場合、パターンの種類によってはムラになることがあります。施工の際は最寄りの各営業所へお問い合わせください。
●パターン写真の縮尺は一定ではありませんので、ご注意ください。
●塗装方法によりパターンが大幅に異なる場合があります。試し塗りにより、パターンを確認した後、本施工に入ってください。また塗板がある場合は、塗板を最優先にしてください。
●色相に関しましては、必ず実物見本よりお選びください。(写真の色相でのご注文は、ご遠慮ください)
●※印のパターンは、施工時に専用骨材が必要になります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
注) 骨は使用骨材、施はパターン付けに用いる施工器具を表します。

こて仕様

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi標準パターン

Trowel Finish



Storm ストーム P20
骨 無し　施 左官ごて



Sandstorm ※サンドストーム P47
骨 Nストーン　施 木ごて



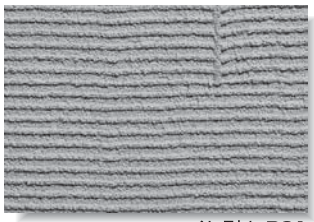
Splash ※スプラッシュ P54
骨 Nストーン　施 左官ごて



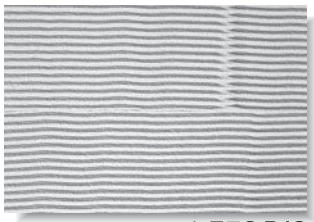
Vortex ※ボルテックス P52
骨 Nストーン　施 木ごて



Scratch ※スクラッチ P22
骨 Nストーン　施 SKくしべら



Stripe ※くし引き P21
骨 シボサンド　施 SKくしごて



Sand Bar-S シラスS P43
骨 無し　施 SK波型へらS



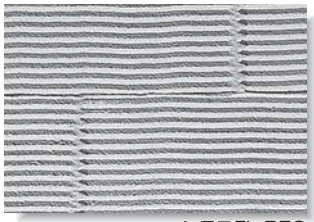
Sand Bar-L ※シラスL P42
骨 シボサンド　施 SK波型へらL



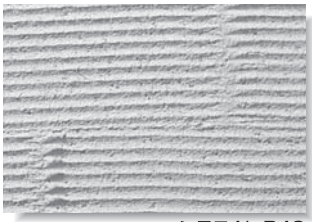
Feather ※フェザー P55
骨 寒水石1.5厘　施 左官ごて



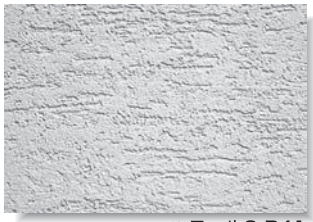
Pressed Sand Bar-L ※シラススムース P53
骨 シボサンド　施 SK波型へらL



Sand Bar-FL ※シラスFL P50
骨 寒水石1厘　施 SK波型へらL



Sand Bar-AL ※シラスAL P49
骨 Nストーン　施 SK波型へらL



Tail-S ※テールS P41
骨 寒水石1.5厘　施 SK仕上げごて



Tail-L ※テールL P40
骨 寒水石1.8厘　施 SK仕上げごて

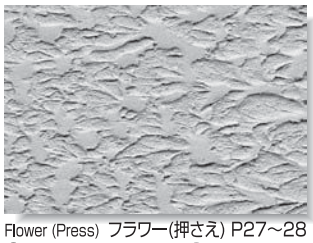


Travertine ※トラバーチン P19
骨 シボサンド　施 左官ごて

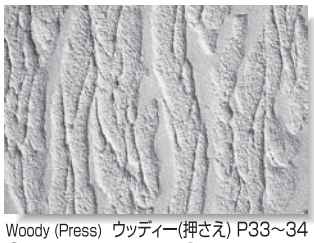
ローラー仕様

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi標準パターン

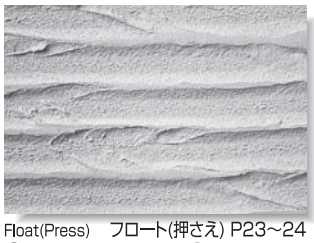
Roller Finish



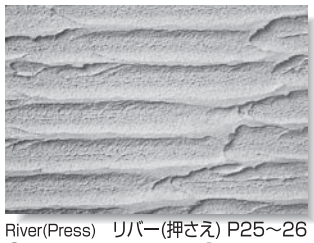
Flower (Press) フラワー(押さえ) P27～28
骨 無し　施 フラワーローラー



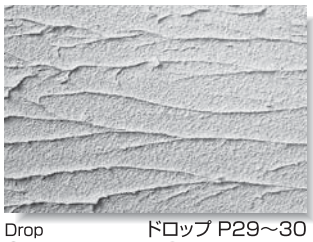
Woody (Press) ウッディー(押さえ) P33～34
骨 無し　施 ウッディーローラー



Float(Press) フロート(押さえ) P23～24
骨 無し　施 フロートローラー



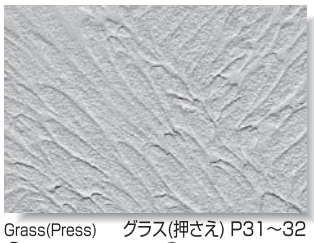
River(Press) リバー(押さえ) P25～26
骨 無し　施 リバーローラー



Drop ドロップ P29～30
骨 無し　施 ウールローラー(中毛)



Canyon ※キャニオン P35
骨 シボサンド　施 キャニオンローラー



Grass(Press) グラス(押さえ) P31～32
骨 無し　施 ウールローラー(中毛)



Lime Tone ※ライムトーン P36
骨 シボサンド　施 ウールローラー(中毛)

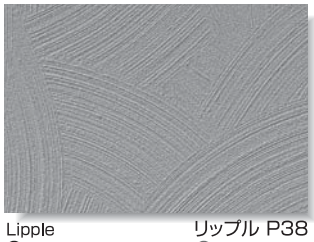
刷毛仕様

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi標準パターン

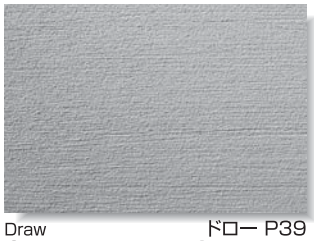
Brush Finish



Hair Line ヘアーライン P37
骨 無し　施 SKデザイン刷毛



Lipple リップル P38
骨 無し　施 SKデザイン刷毛



Draw ドロー P39
骨 無し　施 SKデザイン刷毛

特長

意匠性

ベルアート　弾性ベルアート　ベルアートSi

各種デザインローラー・ガン・こて・刷毛など、それぞれの作業方法により、幅広い仕上がりパターンを形成することができます。

優れた耐久性・低汚染性

ベルアートSi

セラミックシリコン樹脂を結合材とすることで、従来のタイプに比べ飛躍的に耐久性を向上させました。また、表面は緻密な塗膜構造を持つため、優れた低汚染性を発揮します。

※1.施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
※2.鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤（油分）を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。

超低汚染仕様（オプション）：ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSi

ＳＫセラミファイントップをベルアートシリーズ塗装後の表面に塗装することにより、より低汚染にし、美しい壁面を維持することができます。詳しくはP68をご参照ください。

防水性

弾性ベルアート

塗膜は弾性を示すため、下地の微細なひび割れに追従し、雨水の浸入を防ぎます。

ひび割れ追従性

ベルアート　ベルアートSi

塗膜は微弾性を示すため、下地の微細なひび割れに追従し、雨水の浸入を防ぎます。

防かび・防藻性

ベルアート　弾性ベルアート　ベルアートSi

特殊設計により長期に亘ってかびや藻などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持することができます。

優れた密着性

ベルアート　弾性ベルアート　ベルアートSi

新築、改装を問わず各種下地に対して優れた密着性を示します。

※この他、ベルアート等の土壁調意匠性塗材の改修用として「アートフレッシュ（20kg石油缶）」もあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

適用下地

コンクリート、セメントモルタル、PC部材（軽量PCは除く）、ALCパネル、GRC板、各種乾式ボード類、金属パネル、各種旧塗膜（活膜）、押出成形セメント板など

※下地の種類により、適切な下塗材を選択してください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

用途

・戸建て住宅、マンションなどの内外装仕上げ
・ホテル、店舗などの内外装仕上げ

性能試験成績表

JIS A 6909　建築用仕上塗材　可とう形外装薄塗材Eによる物性試験

試験項目		結果			品質
		ベルアート	弾性ベルアート	ベルアートSi	
低温安定性		合格	合格	合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥による ひび割れ抵抗性		合格	合格	合格	ひび割れがない。
付着強さ	標準状態 N/mm²	1.1	1.1	1.1	0.5以上
	浸水後 N/mm²	0.8	0.9	1.3	0.3以上
温冷繰返し		合格	合格	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性A法（mm）		合格	合格	合格	10.0以下
耐洗浄性		合格	合格	合格	剥がれ及び摩耗による基板の露出がない。
耐衝撃性		合格	合格	合格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない。
耐アルカリ性　A法		合格	合格	合格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐候性　A法		合格	合格	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
可とう性		合格	合格	合格	ひび割れがない。

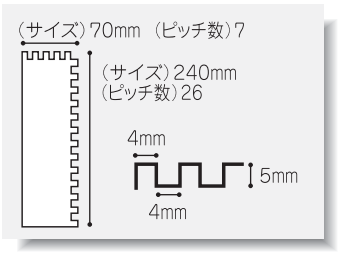
使用器具

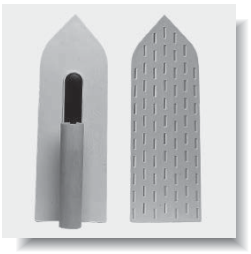


SKKスーパーガン（万能ガン）
SK Super Gun



SKくしごて
SK Comb Trowel

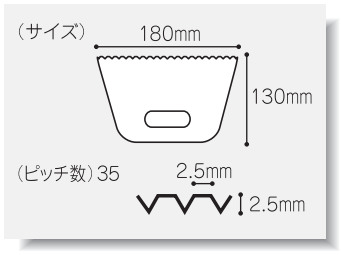




SK仕上げごて
SK Finishing Trowel



SKくしべら
SK Comb Spatula

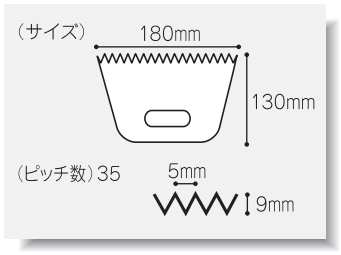


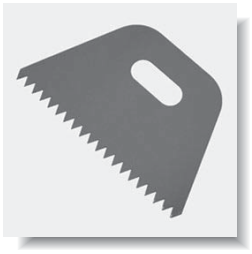


SKデザイン刷毛
SK Brush

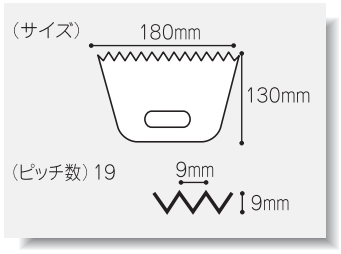


SK波型へらS(180mm)
SK Wave Spatula-S(180mm)



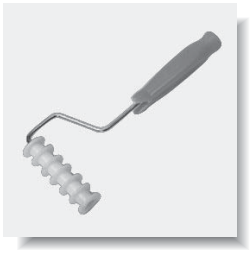


SK波型へらL(180mm)
SK Wave Spatula-L(180mm)

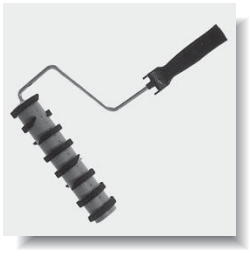




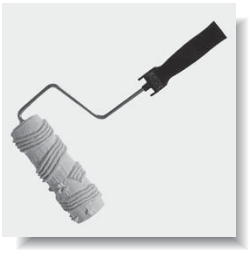
キャニオンローラー
Canyon Roller



キャニオンローラーS
Canyon Roller-S



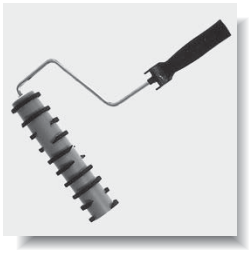
フロートローラー
Float Roller



ウッディーローラー
Woody Roller



フラワーローラー
Flower Roller



リバーローラー
River Roller



ウールローラー(中毛)
Wool Roller

注）使用器具は必ず指定されたものを使用してください。

※　シンナー等溶剤形の材料と接触しないようにしてください。パターン付け用の突起物が外れる危険性があります。

施工条件及び下地調整（各仕上げ共通）

材料荷姿

カケンフィラー	30kgセット
カケンセメントフィラー	22.3kgセット
SFアンダー	20kg石油缶
ミラクファンドＫＣ－1000	25kgセット
ミラクファンドＫＣ－2000	25kgセット
ミラクファンドＫＣ－3000	22.8kgセット
★ミラクシーラーＥＳ	15kg石油缶
★ＥＸシーラー	15kg石油缶
★一液マイルドシーラーES（クリヤー/ホワイト）	14kg石油缶
★マイルドシーラーＥＰＯ（クリヤー/ホワイト）	14kgセット
★ミラクシーラーＥＰＯ	15kgセット
★エスケーハイブリッドシーラーEPO	15kgセット
★ＳＫ＃1000プライマー	20kgセット
★ミラクボーセイＭ	18kgセット
★エナメル用シンナー	16ℓ石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSiは、施工前の下地の状態により仕上がり感が大きく左右されます。あらかじめ施工前の下地の状態を十分に確認し、入念な下地調整を行ってください。

1. 下地の清掃

施工面は平滑で、汚れ・ごみなどの付着物がないようにしてください。下地に付着しているごみ・土砂・油分・レイタンスなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去してください。型枠工法で離型剤がコンクリート表面に付着している場合は、溶剤（エナメル用シンナーなど）で洗浄してください。木型枠の木肌が残っている場合は、ワイヤーブラシなどで除去してください。これらは、塗膜の膨れ・変色の原因になることがあります。

2. 下地の乾燥

下地は十分に乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。乾燥養生期間の目安は、下表の通りです。

下　地	夏期	春秋期	冬期
コンクリート	21日	21～28日	28日
モルタル	14日	14～21日	21日

冬期には下地が凍結している場合があり、凍結している下地に施工すると密着不良が生じるおそれがあります。必ず、施工前に凍結の有無を確認してください。

3. 下地の補修

下地の種類によっては、表面状態・表面強度及び吸い込みの度合いが異なります。これら下地に対する調整を誤ると、塗膜の膨れ・はがれを生じる危険性がありますので、施工前の施工管理は手抜かりなく十分に行ってください。なお、PC部材、ALCパネル、押出成形セメント板、GRC板やけい酸カルシウム板（各種乾式ボード類）など、目地を生じる下地では、目地部に塗装した場合、割れが発生する恐れがありますので、施工を避けてください。また、このような下地に対しては、連続性が損なわれるパターンもありますので、パターンを選ばれる際は、ご注意ください。詳しくは、以下の各下地別下地処理方法に従ってください。

(1) 新設下地

a. コンクリート

原則として全面補修を行うことを前提とし、段差・不陸などは平滑にしてください。特に、巣穴・ジャンカなどは、カケンセメントフィラーなどできれいに埋めてください。また、型枠離型剤が表面に付着していると密着不良を起こしますので、必ずエナメル用シンナーなどの溶剤できれいに拭き取ってください。

b. セメントモルタル

粉化している場合、そのまま塗装すると密着不良を起こしますので、表面をよく目荒しし、粉化物を除去してください。また、施工にあたっては、必ず金ごて仕上げ以上としてください。

c. ＰＣ部材

巣穴・ピンホールなどは、必ずカケンセメントフィラーなどできれいに埋めてください。下塗材としてミラクシーラーEPOまたはマイルドシーラーEPO、またはエスケーハイブリッドシーラーEPOを塗付してください。また、型枠離型剤が表面に付着していると密着不良を起こしますので、必ずエナメル用シンナーなどの溶剤できれいに拭き取ってください。なお、軽量PCへの施工は避けてください。

d. ＡＬＣパネル（多孔質下地）

カケンフィラーまたはミラクファンドＫＣ－1000、またはSFアンダーなどで下地調整を行ってください。なお、スプレー塗りの場合は、吹付け後、左官刷毛でしごいてください。

e. 押出成形セメント板、ＧＲＣ板

下塗材としてミラクシーラーＥＰＯまたはマイルドシーラーEPO、またはエスケーハイブリッドシーラーEPOを塗付してください。特に緻密な下地に対しては、あらかじめ研磨紙による表面目荒しを行ってください。

f. けい酸カルシウム板（各種乾式ボード類）

下塗材としてＥＸシーラーまたはミラクシーラーＥＳ、または一液マイルドシーラーESを塗付してください。また、ボードによっては塗装板、シーラー板などがあり、種類によって仕様が異なることがありますので、あらかじめ確認しておいてください。

g. 金属パネル

下地として部分的に金属パネルが見られる場合は、その素材に応じて適切な下塗材を選択してください。

●防錆処理が必要な場合（素材：鉄鋼、亜鉛めっき鋼など）
下塗材としてミラクボーセイＭを塗付してください。

●防錆処理が不要な場合（素材：アルミニウム、ステンレスなど）
下塗材としてＳＫ＃1000プライマーを塗付してください。

h. シーリング材

使用されているシーリング材の種類や硬化状態により、ひび割れが生じやすくなったり、密着不良をひき起こすことがあります。事前に使用されているシーリング材について確認し、下塗材の選定を行ってください。また、間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますのでなるべく避けてください。

(2) 改装下地

ミラクファンドＫＣ－1000、ミラクファンドＫＣ－2000、またはミラクファンドＫＣ－3000にて全面補修し、表面を平滑にしてください。特に、ケレンにより旧塗膜を除去した部分は、段差が生じないように注意して補修してください。また、ひび割れ・欠損など各種問題点については、別途ご相談ください。

下塗り（各仕上げ共通）

材料荷姿

水性ミラクシーラーエコ（クリヤー／ホワイト）	15kg石油缶
★ミラクシーラーＥＳ	15kg石油缶
★ＥＸシーラー	15kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具

W−2ローラー（ウールローラー）
刷毛
エアレススプレーガン
スプレーガン

● 標準施工仕様（新築）

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
1	下地	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。							―――
2	下塗り	水性ミラクシーラーエコ（クリヤー/ホワイト）	既調合	0.10〜0.13※1	1※2	―※3	2以上	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量　：600〜1000㎖/分 パターン幅：25〜30cm

※1. 改装時の下塗材の所要量は、0.10〜0.30kg/㎡となります。
※2. 改装時の下塗材の塗回数は、1〜2回となります。
※3. 改装時の下塗材の工程内間隔時間は2以上となります。

● 標準施工要領

1. 下地

各下地別下地処理方法に準拠して適切な下地調整を行ってください。特に、下地の凹凸などの状況が仕上げ状態に影響しますので、平滑な状態（金ごて仕上げ下地）に調整してください。

2. 下塗り

●水性ミラクシーラーエコを十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、スプレーガン、またはエアレススプレーガンを用いてください。
なお､ローラー・刷毛塗りも可能です。

●下塗材は、全体に均一にむらなく塗付してください。
また、塗回数は下地の状況に応じて1回とし、所要量は0.10〜0.13kg/m²としてください。

●下塗材塗付後、主材塗り①(基層塗り)までの間隔時間は2時間以上としてください。

●下塗材には溶剤タイプのＥＸシーラー、ミラクシーラーＥＳもご使用いただけます。

● 標準塗坪 ※

水性ミラクシーラーエコ(クリヤー/ホワイト)　新築時：115〜150m²/缶
改装時：　50〜150m²/缶

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

主材塗り①（各仕上げ共通）

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
（ベルアートシリーズ）	

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


SKKスーパーガン（万能ガン）

● 標準施工仕様（SKKスーパーガン（万能ガン）吹付仕様）

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
3	主材塗り①（基層塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	—	☆2以上	—	SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa(4～6f/cm²)
		清水	10～15	—					

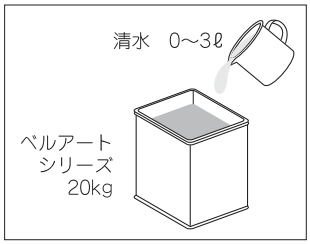
● 標準施工仕様（左官ごて仕様）

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
3	主材塗り①（基層塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	—	☆2以上	—	左官ごて
		清水	0～3	—					

● 標準施工要領

3. 主材塗り①（基層塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～15%（SKKスーパーガン（万能ガン）吹付仕様で「10～15%」、左官ごて仕様で「0～3%」）の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてまたは、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mm、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）を用いてください。主材は、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、所要量は1.0～1.2kg/m²としてください。

●吹付けの場合、クレーター模様ができないようにSKKスーパーガン（万能ガン）のエアーノズルを調整し、事前にパターン確認を行ってください。
※エアーノズルをできるだけ前方（吐出口）に位置するようにし、霧化を良くしてください。

☆主材塗り①(基層塗り)後、主材塗り②(模様塗り)を行う場合の工程間隔時間は、2時間以上、装飾養生または化粧目地を設ける場合の工程間隔時間は16時間以上としてください。

フラット仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



SKKスーパーガン
（万能ガン）

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	0.8～1.0	1	ー	ー	24以上	SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		清水	10～15	ー					

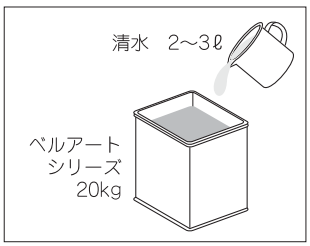
注）薄塗りで平滑な仕上げのため、大壁面（3m×3m以上）への施工は塗装むらを生じやすいので、原則的に避けてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



- ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を10～15%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は、均一にむらなく塗付し、所要量は0.8～1.0kg/m²としてください。
- 塗装の際、クレーター模様ができないようにSKKスーパーガン（万能ガン）のエアーノズルを調整し、事前にパターン確認を行ってください。
  ※エアーノズルをできるだけ前方（吐出口）に位置するようにし、霧化を良くしてください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※　ベルアートシリーズ　9～11m²/缶

〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

吹付タイル仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具


タイルガン


プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

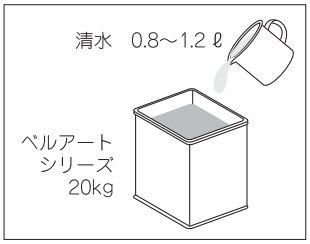
工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	0.8～1.2	1	—	（凸部処理 10分以内）	吹放し 24以上	タイルガン 口径:6.5～8mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	4～6	—					
(5)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて、凸部を押さえてください。				—	—	24以上	プラスチックローラー

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



- ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を4～6%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、タイルガン口径6.5～8mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は0.8～1.2kg/m²としてください。なお、小粒仕上げの場合は、タイルガン口径4～6.5mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）、所要量0.5～0.8kg/m²としてください。
- パターンの形状（山立ち、玉の大きさ等）が均一になるように水希釈量、吹付け圧力等を調整し、事前にパターン確認を行ってください。
- 最終養生時間（吹放し）は24時間以上（23℃）としてください。

（5.凸部処理）

- 主材塗付後10分以内（23℃）に、塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用い、凸部を押さえてください。なお、灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。
- 凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　　8～11m²/缶、　10～13m²/缶（小粒仕上げ）
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

スタッコ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具


スタッコガン


プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

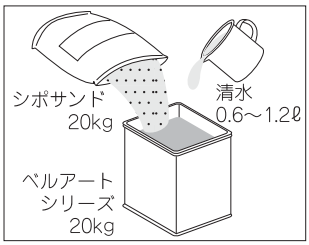
工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.0～3.5	1	ー	（凸部処理10分以内）	吹放し24以上	スタッコガン 口径：8～12mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
(5)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				ー	ー	24以上	プラスチックローラー

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し清水をベルアートシリーズ100に対し、3～6%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は、均一にむらなく塗付し、所要量は3.0～3.5kg/m²としてください。なお、小粒仕上げの場合は、タイルガン口径8～10mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）、所要量1.5～2.0kg/m²としてください。

●パターンの形状（山立ち、玉の大きさ等）が均一になるように水希釈量、吹付け圧力等を調整、事前にパターン確認を行ってください。

●最終養生時間（吹放し）は24時間以上（23℃）としてください。

（5.凸部処理）

●主材塗付後10分以内（23℃）に、塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用い、凸部を押さえてください。なお、灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●最終養生時間は、24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～8m²/缶、　9～11m²/缶（小粒仕上げ） 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	11～13m²/袋、　20～26m²/袋（小粒仕上げ）

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ジュラク仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



SKKスーパーガン
（万能ガン）

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	ー	ー	24以上	SKKスーパー（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		寒水石1厘	50						
		清水	15～20	ー					

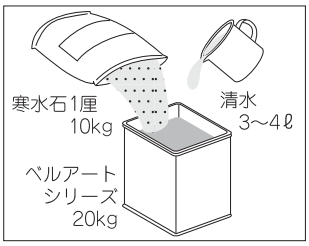
注）薄塗りで平滑な仕上げのため、大壁面（3m×3m以上）への施工は塗装むらを生じやすいので、原則的に避けてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、寒水石1厘10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して15～20%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は1.0～1.2kg/m²としてください。

●塗装の際、クレーター模様ができないようにSKKスーパーガン（万能ガン）のエアーノズルを調整し、事前にパターン確認を行ってください。
※エアーノズルをできるだけ前方（吐出口）に位置するようにし、霧化を良くしてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	10～12m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石1厘	50～60m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

リシン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



リシンガン

● 標準施工仕様

（23℃）

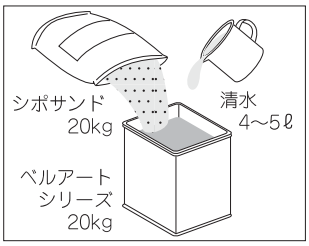
工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.2～1.4	1	ー	ー	24以上	リシンガン 口径:4～6mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	20～25	ー					

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



- ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して20～25%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、リシンガン口径4～6mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は1.2～1.4kg/m²としてください。
- 骨材の付着性を考慮して水希釈量、吹付け圧力等を調整して事前にパターン確認を行ってください。
- 最終養生時間は、24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	10～12m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	28～33m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ゆず肌仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



SKKスーパーガン
（万能ガン）

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	0.7～0.9	1	ー	ー	24以上	SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		清水	6～8	ー					

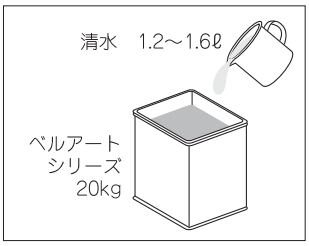
注）大壁面（3m×3m以上）への施工は塗装むらを生じやすいので、原則的に避けてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



- ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を6～8%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は0.7～0.9kg/m²としてください。
- 塗装の際、クレーター模様ができないようにSKKスーパーガン（万能ガン）のエアーノズルを調整し、事前にパターン確認を行ってください。
  ※エアーノズルをできるだけ前方（吐出口）に位置するようにし、霧化を良くしてください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　　9～11m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ウェーブ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


K−1（くばり）ローラー


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	−	5分以内	−	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	0〜3	−					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				−	−	24以上	左官ごて

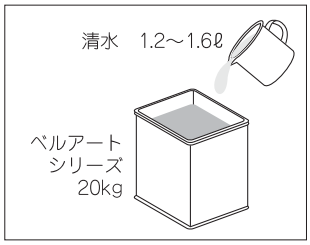
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に塗装養生（または化粧目地面）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0〜3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。特に、左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は1.5〜2.0kg/㎡としてください。
（タイルガン:口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてを用いて、半円を描くように軽くこてすじを付けながら、パターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。こてすじはランダムにクロスするように付けてください。

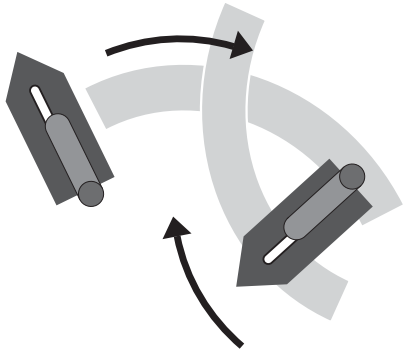
●配り塗りの所要量が多過ぎたり、パターン付けの時にこてで強く押さえ過ぎたりすると線模様が崩れますので、注意してください。

●ピンホールなどがでないように塗面をよくならしてからパターン付けしてください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。
パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　6〜8m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ウェーブ2色仕上げ

材料荷姿

ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
弾性ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
ベルアートSi	A色／B色	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



左官ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け	ベルアートシリーズA色	100	1.5～2.0	1	ー	ー	24以上	左官ごて
		清水	0～2						
		ベルアートシリーズB色	100						
		清水	0～2						
		左官ごてで、パターン付けをしてください。							

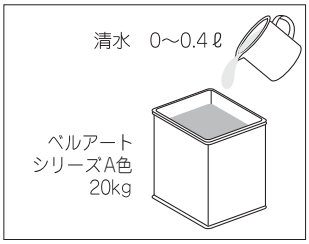
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

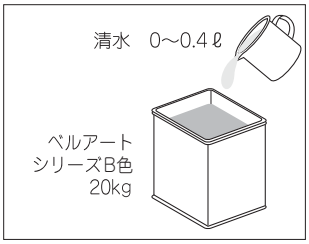
● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

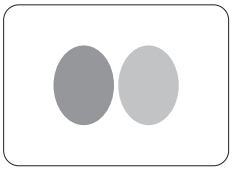
上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け

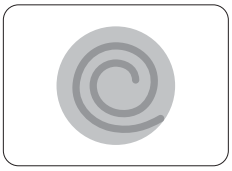




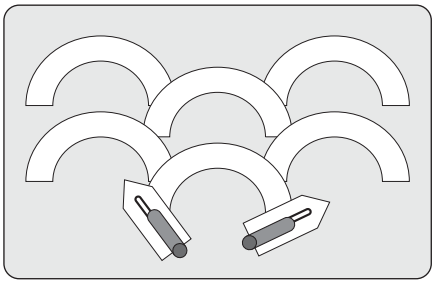
- ベルアートシリーズA色及びB色20kgに対し、清水を0～2%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- こて板に各色を約1：1の比率で載せ、こて先で軽く混ぜてください。
- 左官ごてを使用し、弧を描く様に配り塗りとパターン付けを同時に行い、事前にパターンの確認を行ってください。
- パターン付けはできるだけ1度で行ってください。何度も塗り重ねると色が滲むので注意してください。所要量は1.5～2.0kg/m²としてください。
- パターンの山の部分は同じ高さに揃えずに、ランダムな位置になるようにしてください。
- 左官ごてに付いた塗料はそのつど拭き取ってから次のパターン付けを行ってください。
- パターン付けをやり直す場合は、塗付した塗材をいったん除去してから行ってください。
- A色とB色の混合比率は1：1を原則とし、周囲の色相と比較しながら、微調整してください。
- 配り塗りの所要量が多過ぎたり、パターン付けの時にこてで強く押さえ過ぎたりすると線模様が崩れますので、注意してください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



A色とB色をこて板に同量載せる。



各色がにじまないように軽く混ぜ合わせる。



左官ごてにて弧を描くように配り塗りと、パターン付けを同時にする。

（注意事項）

- 2色のうち、薄い色をA色、濃い色をB色とし、基層塗りはA色で行ってください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　A色　9～11m²/缶

〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

B色　20～26m²/缶

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

スタンプ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
5	パターン付け	木ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	木ごて

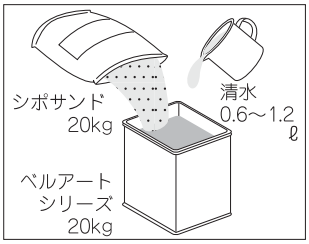
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。厚付けし過ぎないように注意してください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、木ごてを用いて、こて跡が残るように凹凸模様を付け、事前にパターン確認を行ってください。その際、こてはランダム方向に移動させてください。

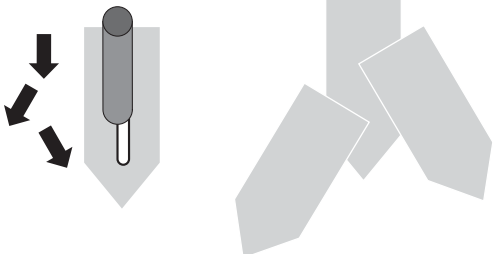
●パターン付けの際、木ごてであまり強く押さえ過ぎないように注意してください。

●木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。
パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●パターンは必ずランダムになるように仕上げてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



「人」と「｜」の字を描くようにこてを移動させると、比較的きれいに仕上がります。均一にならないよう、必ずランダムに仕上げてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

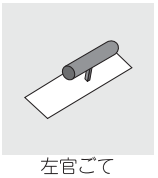
ラージスタンプ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石5厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石5厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	ー					
5	パターン付け	左官ごてにて表面を軽く押さえてパターンを整えてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

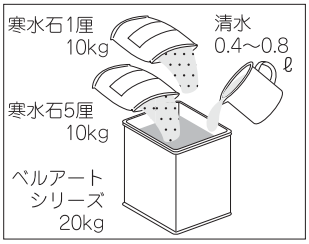
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石5厘10kg、寒水石1厘10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン:口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

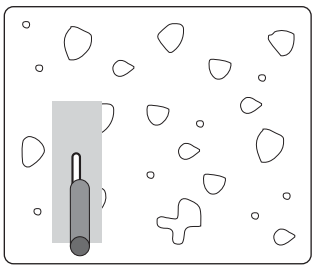
●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を削るようにこて跡を付けながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

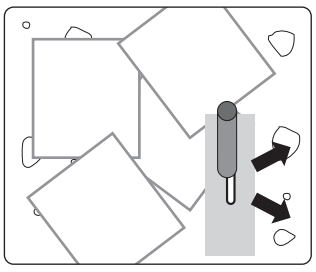
●左官ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

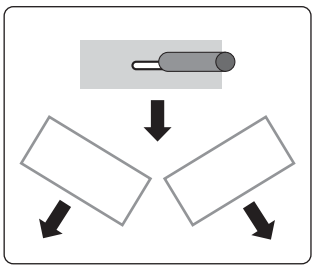
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●パターンは必ずランダムになるように仕上げてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごてにて塗面を削るようにこて跡を付けながらランダムにパターン付けする。


こての動かす方向。
こての幅広の方にてパターン付けする。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～9m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石5厘	28～34m²/袋
寒水石1厘	28～34m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

フォレスト仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


K−1（くばり）ローラー


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	0〜3	ー					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

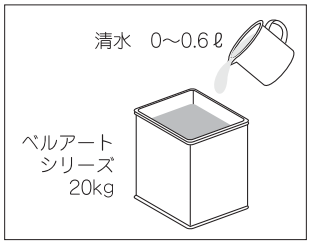
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてしてください。

● 標準施工要領

1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0〜3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。特に、左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は1.5〜2.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてを用いて、均一に押し付けるように、パターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。パターン付けは重なるように付け、ランダムに行ってください。

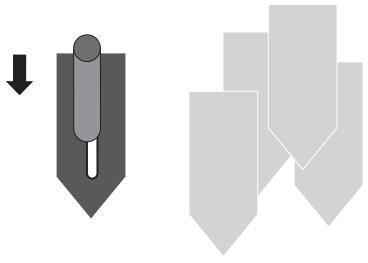
●配り塗りの所要量が多過ぎたり、パターン付けの時にこてで強く押さえ過ぎたりすると線模様が崩れますので、注意してください。

●ピンホールなどがでないように塗面をよくならしてからパターン付けしてください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。
パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごての頭の部分を使って、塗面を上から下へ軽く押さえるようにすると、比較的きれいに仕上がります。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　6〜8m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

トラバーチン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


スタッコガン


左官ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	ー	5分以内	ー	スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

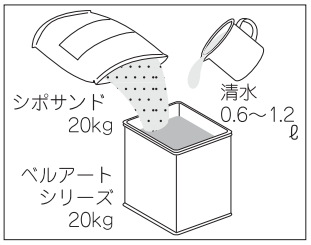
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。また、主材は均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてに清水をひたし、凸部を押さえてください。その後塗面を一定方向にならすように、均一にしごき、事前にパターン確認を行ってください。

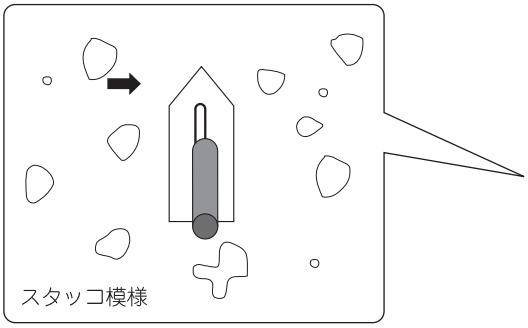
●左官ごてに浸した清水は、良く切ってからパターン付けしてください。

●虫食い模様が適度に出る様に、あまり強く押さえすぎないようにしてください。

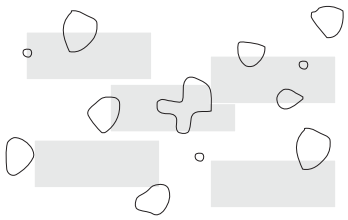
●左官ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



スタッコ押さえを引き伸ばすような感じで、
左官ごてを一定方向に移動させてください。



● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ストーム仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


K−1（くばり）ローラー


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	−	5分以内	−	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	0〜3	−					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				−	−	24以上	左官ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

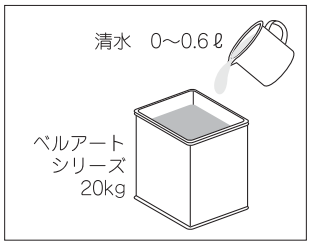
1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0〜3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。
特に、左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。
所要量は1.5〜2.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



5. パターン付け

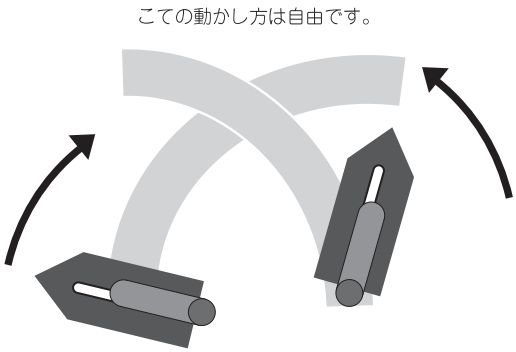
●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてを用いて、ランダムなこてすじ模様を付けるように、パターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。こてすじ模様はラフな線模様としてください。

●パターン付け時に跳ね上がりなどができないように、所要量やこての動かし方に注意してパターン付けしてください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。
パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　6〜8m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

くし引き仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


ＳＫくしごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	－	5分以内	－	左官ごて スタッコガン 口径：8～12mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	－					
5	パターン付け	ＳＫくしごてで、パターン付けをしてください。				－	－	24以上	SKくしごて

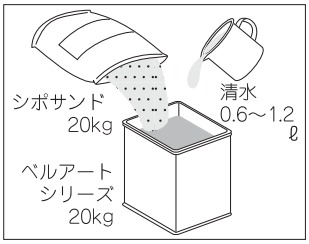
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、ＳＫくしごてを用いて、塗面を一定方向に軽くならすようにしてパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●SKくしごては塗面に対して45°以下になるよう、できるだけ寝かせて引くようにしてください。

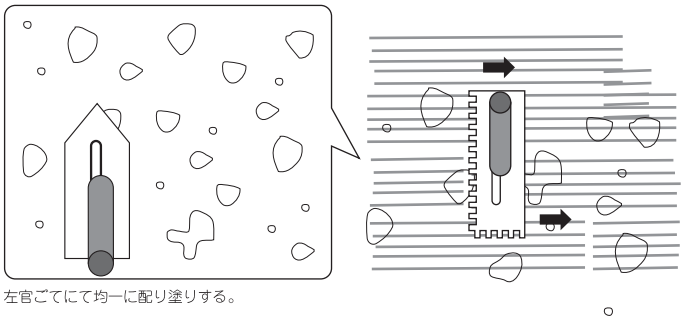
●パターンを継ぐ位置はランダムな位置になるようにしてください。

●SKくしべらに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。

●パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

スクラッチ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
Nストーン	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


ＳＫくしべら

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	―	5分以内	―	左官ごて タイルガン 口径：8～10mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		Ｎ　ス　ト　ー　ン	50						
		清水	3～5	―					
5	パターン付け	ＳＫくしべらで、パターン付けをしてください。				―	―	24以上	SKくしべら

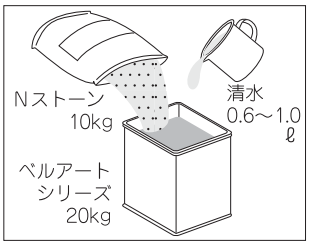
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、Ｐ5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにNストーン10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～5%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、ＳＫくしべらを用いて、塗面を一定方向に軽くならすようにしてパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。その際、ＳＫくしべらは、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に引かず、手の届く範囲（50～60ｃｍ程度）で作業してください。

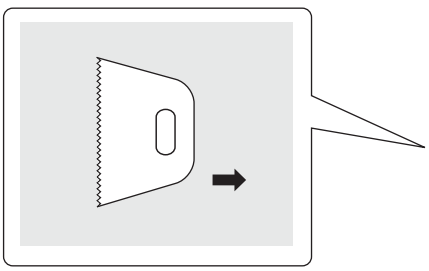
●SKくしべらは塗面に対して45°以下になるよう、できるだけ寝かせて引くようにしてください。

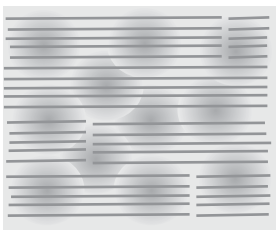
●SKくしべらに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。

●パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。







● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
Nストーン	20～24m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

フロート仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

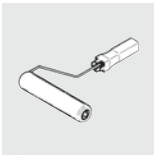
注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


フロートローラー


プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20～50mmの幅で面毎に養生してください。				ー	ー	ー	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径：8～10mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	0～1	ー					
6	パターン付け	フロートローラーで、パターン付けをしてください。				ー	10分以内	ー	フロートローラー
(7)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				ー	10分以内	ー	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				ー	ー	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

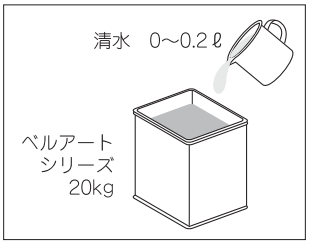
4. 装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。

●設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

5. 主材塗り②（模様塗り）



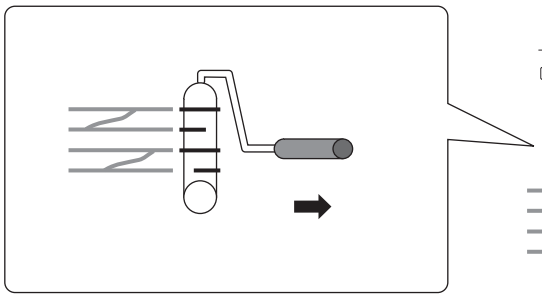
●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～1%の範囲で加え、十分に撹拌してください。テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

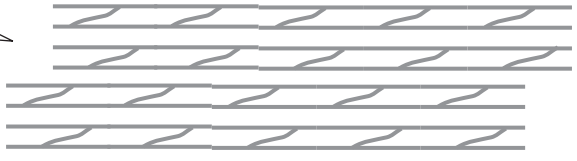
6. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、あらかじめ主材を十分含ませたフロートローラーを用いて、基準線に沿って一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）



一定方向にローラーを移動させながら、パターン付けを行ってください。
ローラーを押して転がすときれいに仕上がります。



●横方向の塗り継ぎは、前に付けた横筋を2筋程度重ねるように行ってください。

●パターン付けは一度で仕上がるようにしてください。塗り直しが必要な場合は、ネタ配りをした状態まで戻してから行ってください。

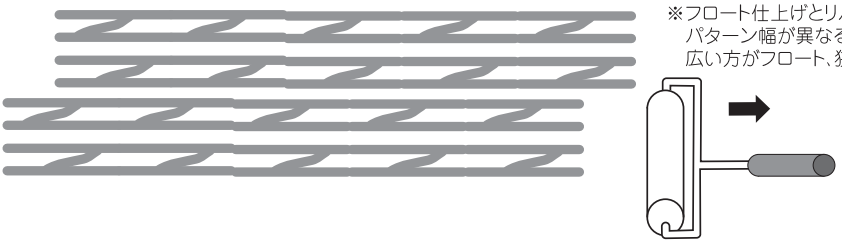
（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●左右のローラーパターンが重なる部分はランダムな位置になるようにしてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



※フロート仕上げとリバー仕上げは、
パターン幅が異なるだけです。
広い方がフロート、狭い方がリバーになります。

8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※　ベルアートシリーズ　4～5m^2/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

リバー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


リバーローラー


プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20～50mmの幅で面毎に養生してください。				ー	ー	ー	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径：8～10mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	0～1	ー					
6	パターン付け	リバーローラーで、パターン付けをしてください。				ー	10分以内	ー	リバーローラー
(7)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえていください。				ー	10分以内	ー	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				ー	ー	24以上	

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 装飾養生

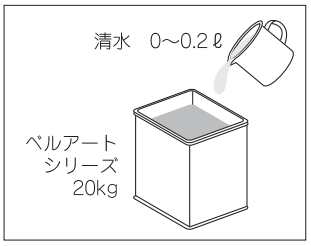
●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。

●設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

5. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～1%の範囲で加え、十分に撹拌してください。テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

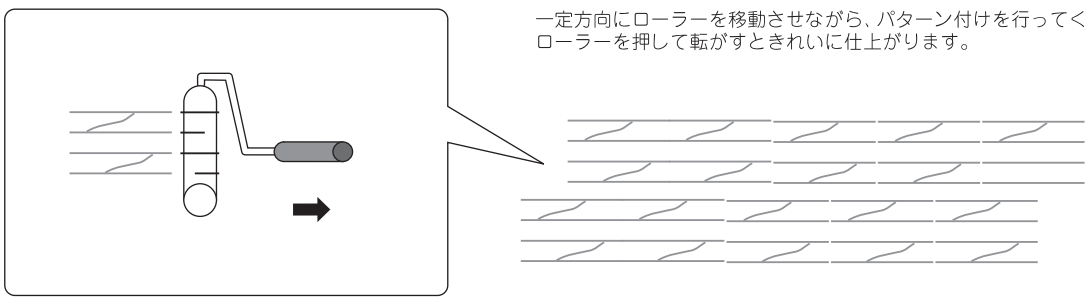


●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

6. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、あらかじめ主材を十分含ませたリバーローラーを用いて、基準線に沿って一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）


一定方向にローラーを移動させながら、パターン付けを行ってください。
ローラーを押して転がすときれいに仕上がります。

●横方向の塗り継ぎは、前に付けた横筋を2筋程度重ねるように行ってください。

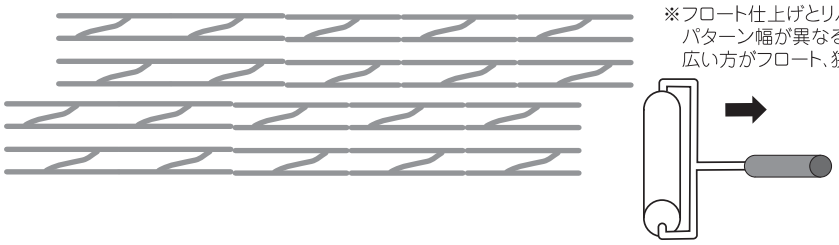
●パターン付けは一度で仕上がるようにしてください。塗り直しが必要な場合は、ネタ配りをした状態まで戻してから行ってください。

（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



※フロート仕上げとリバー仕上げは、
パターン幅が異なるだけです。
広い方がフロート、狭い方がリバーになります。

8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※　ベルアートシリーズ　4～5m^2/缶

〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

フラワー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具



左官ごて　K−1（くばり）ローラー　タイルガン　フラワーローラー　プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20〜50mmの幅で面毎に養生してください。				−	−	−	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	−	5分以内	−	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	0〜2	−					
6	パターン付け	フラワーローラーで、パターン付けをしてください。				−	10分以内	−	フラワーローラー
⑺	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				−	10分以内	−	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				−	−	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。

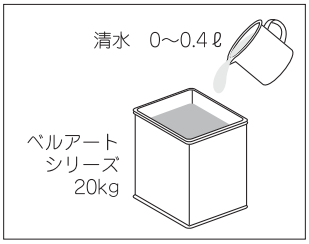
●設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

5. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0〜2%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

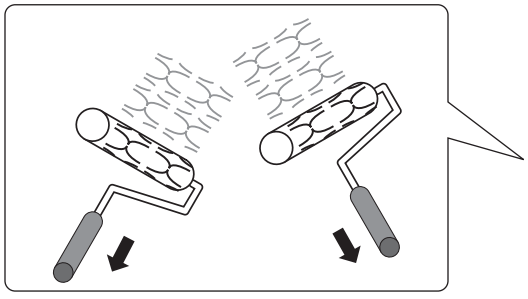
●左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて全体を均一に配り塗りしてください。特に左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は1.5〜2.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



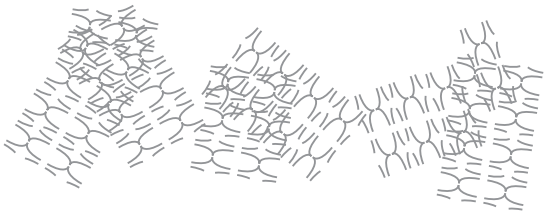
6. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、あらかじめ主材を十分含ませたフラワーローラーを用いて、「ハ」の字を描くように、ランダム方向にローラーを操作しながらパターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）



「ハ」の字を重ねて×点を描くような感じで転がすと、
比較的きれいに仕上がります。

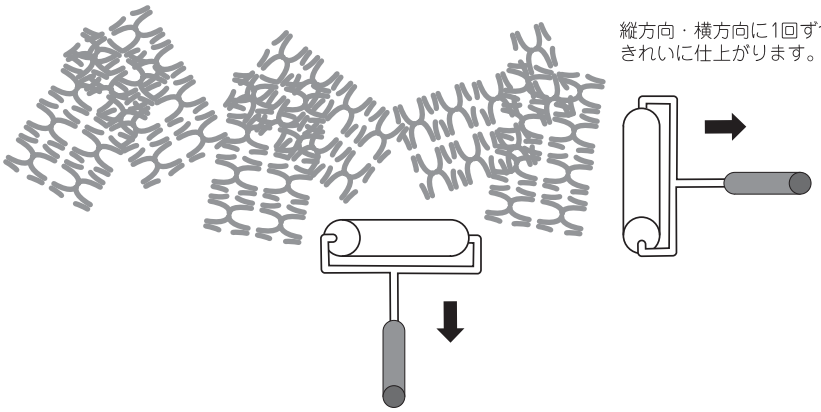


（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● **標準塗坪** ※　ベルアートシリーズ　6〜8m^2/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ドロップ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具



左官ごて　K-1（くばり）ローラー　タイルガン　ウールローラー（中毛）　プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備考
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20～50mmの幅で面毎に養生してください。				ー	ー	ー	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5～2.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて K－1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8～10mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	3～5	ー					
6	パターン付け	ウールローラーで、パターン付けをしてください。				ー	10分以内	ー	ウールローラー（中毛）
(7)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				ー	10分以内	ー	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				ー	ー	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

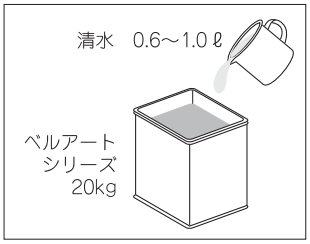
上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 装飾養生

- コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。
- 設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。
- 現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

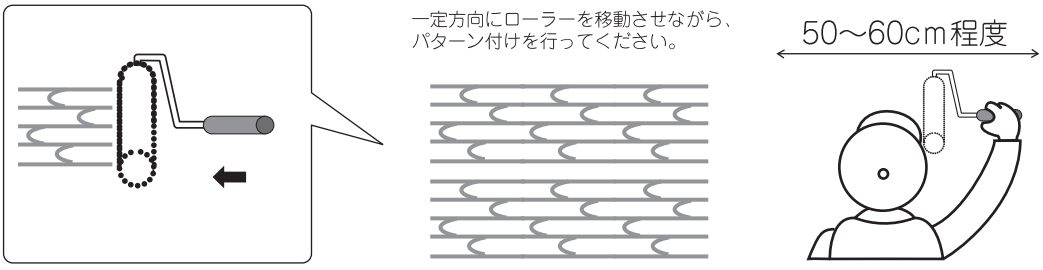
5. 主材塗り②（模様塗り）

- ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を3～5%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 左官ごて、またはK－1（くばり）ローラーを用いて全体を均一に配り塗りしてください。
  特に左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は1.5～2.0kg/m²としてください。
  （タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



6. パターン付け

- 主材塗付後5分以内（23℃）に、あらかじめ主材を十分含ませたウールローラーを用いて、 定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
  （配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）
- パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（50～60cm程度）で作業してください。

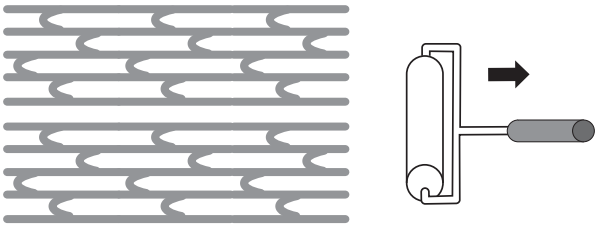


（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● **標準塗坪** ※　ベルアートシリーズ　　6～8m^2/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

グラス仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具



左官ごて　K−1（くばり）ローラー　タイルガン　ウールローラー（中毛）　プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20〜50mmの幅で面毎に養生してください。				−	−	−	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	−	5分以内	−	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	3〜5	−					
6	パターン付け	ウールローラーで、パターン付けをしてください。				−	10分以内	−	ウールローラー（中毛）
⑺	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				−	10分以内	−	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				−	−	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。

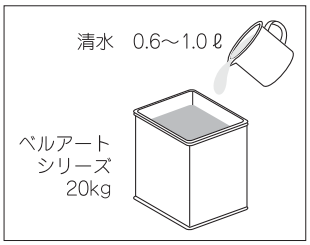
●設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

5. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を3〜5%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

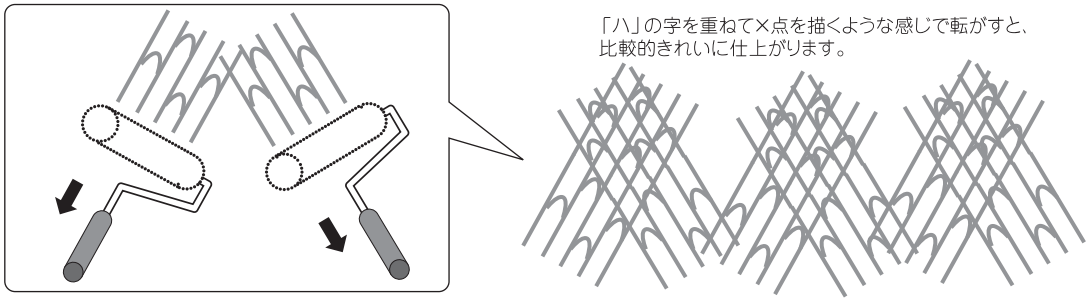
●左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて全体を均一に配り塗りしてください。特に左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は1.5〜2.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



6. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、あらかじめ主材を十分含ませたウールローラーを用いて、「ハ」の字を描くように、ランダムにローラーを操作しながらパターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

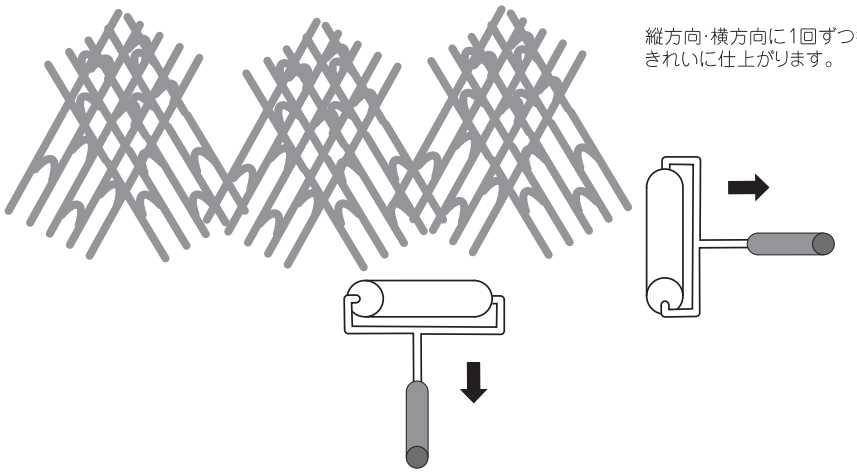


（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● **標準塗坪** ※　ベルアートシリーズ　6～8m^2/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ウッディー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
★塗料用シンナーA	16ℓ 石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、P71からの危険情報と安全対策をよくお読みください。

塗装器具



左官ごて　K−1（くばり）ローラー　タイルガン　ウッディーローラー　プラスチックローラー

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20〜50mmの幅で面毎に養生してください。				−	−	−	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5〜2.0	1	−	5分以内	−	左官ごて K−1（くばり）ローラー タイルガン 口径：8〜10mm 圧力：392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）
		清水	0〜2	−					
6	パターン付け	ウッディーローラーで、パターン付けをしてください。				−	10分以内	−	ウッディーローラー
⑺	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえてください。				−	10分以内	−	プラスチックローラー
8	養生取り	装飾養生を除去してください。				−	−	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地〜3.主材塗り①（基層塗り）

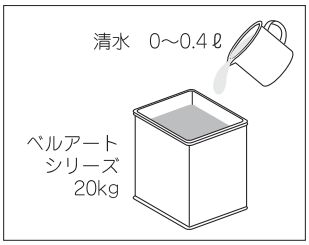
上記工程の詳細は、P5〜7を参照してください。

4. 装飾養生

- コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。
- 設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。
- 現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

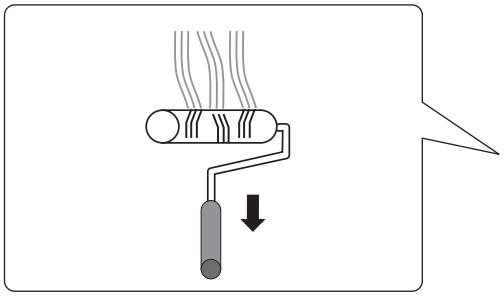
5. 主材塗り②（模様塗り）

- ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0〜2%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 左官ごて、またはK−1（くばり）ローラーを用いて全体を均一に配り塗りしてください。特に左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は1.5〜2.0kg/m²としてください。
  （タイルガン：口径8〜10mm、圧力392〜588kPa（4〜6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

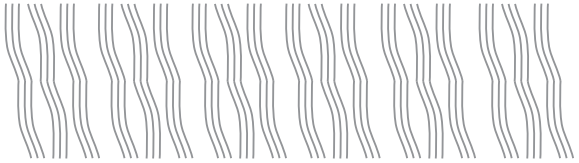


6. パターン付け

- 主材塗付後、直ちに、（5分以内（23℃））に、あらかじめ主材を十分含ませたウッディーローラーを用いて、一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後直ちに行ってください。
  （配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）



一定方向にローラーを移動させながら、パターン付けを行ってください。

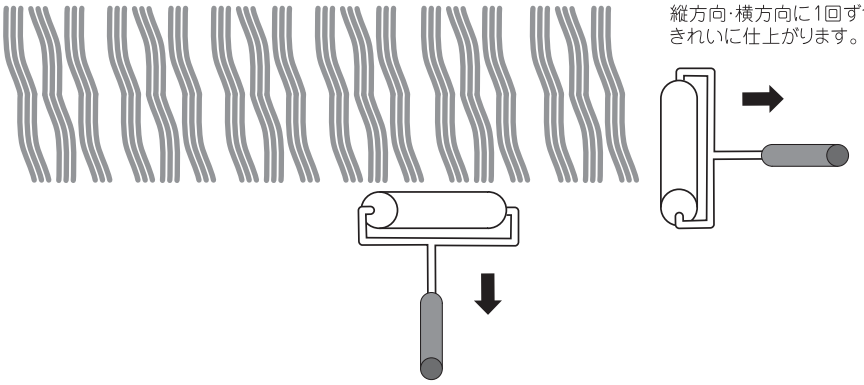


（7. 凸部処理）

●パターン付け後、直ちに、（主材塗付後10分以内（23℃））塗料用シンナーAを付けたプラスチックローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。

●凸部処理する場合は、塗面を強く押さえ過ぎないように注意してください。

●ローラーに付着した塗材は、適度に除去しながらパターン付けしてください。



8. 養生取り

●パターン付け、または凸部処理後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● **標準塗坪** ※　ベルアートシリーズ　6～8m^2/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

キャニオン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


スタッコガン


キャニオンローラー


キャニオンローラーS

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備考
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20～50mmの幅で面毎に養生してください。				―	―	―	―――
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	―	5分以内	―	スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	―					
6	パターン付け	キャニオンローラーで、パターン付けをしてください。				―	10分以内	―	キャニオンローラー
7	養生取り	装飾養生を除去してください。				―	―	24以上	―――

● 標準施工要領

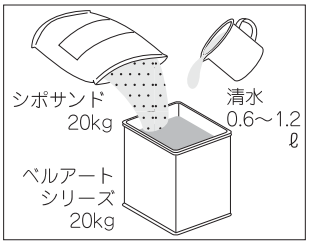
1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 装飾養生

- コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。
- 設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。
- 現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

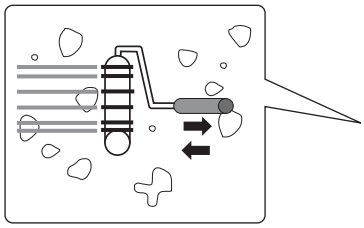
5. 主材塗り②（模様塗り）

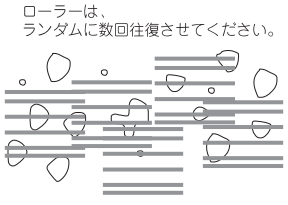


- ベルアートシリーズ20kgに対してシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。

6. パターン付け

- 主材塗付後5分以内（23℃）に、キャニオンローラーに清水を付けて、一定方向に押さえるようにローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。その際、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。また、キャニオンローラーに塗料用シンナーAを付けて押さえないでください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）
- パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（50～60ｃｍ程度）で作業してください。
- ローラーに付けた清水は良く切ってからパターン付けしてください。
- ローラーに塗材が付着しないように、適度に清水を付けながらパターン付けしてください。
- パターンの細部処理にはキャニオンローラーSをご使用ください。







7. 養生取り

- パターン付け後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ライムトーン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


スタッコガン


ウールローラー（中毛）

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	装飾養生	装飾養生（額縁）を20～50mmの幅で面毎に養生してください。				ー	ー	ー	————
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	ー	5分以内	ー	スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
6	パターン付け	ウールローラーで、パターン付けをしてください。				ー	10分以内	ー	ウールローラー（中毛）
7	養生取り	装飾養生を除去してください。				ー	ー	24以上	————

● 標準施工要領

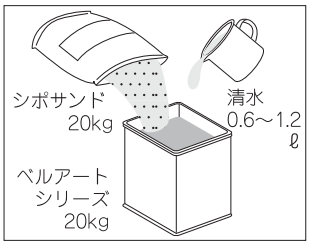
1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 装飾養生

- コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、装飾養生を行ってください。
- 設計図の指定による場合は、指定通りの条件となるように注意し、また、施工面が設計通りの寸法になっているか、メジャーなどを用いて確認してください。
- 現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

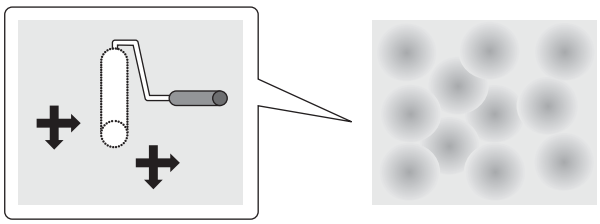
5. 主材塗り②（模様塗り）



- ベルアートシリーズ20kgに対してシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm²）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。

6. パターン付け

- 主材塗付後、直ちに、（5分以内（23℃））清水を付けたウールローラーを用いて、全体を軽く押さえるようにローラーを移動させながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。その際、ローラーは適宜水洗し、塗料が付着しないように注意してください。



- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）
- 適度な凹凸状態を保つよう、ウールローラーは、あまり強く押さえ過ぎないように注意してください。
- ウールローラーに湿らせた清水は良く切ってからパターン付けしてください。
- ローラーの押さえ跡が残らない様に、ランダムにローラーを動かしてください。

7. 養生取り

- パターン付け後10分以内（23℃）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

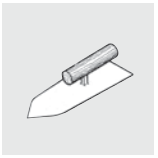
ヘアーライン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


ＳＫデザイン刷毛

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5～2.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて
		清水	0～3	ー					
5	パターン付け	ＳＫデザイン刷毛で、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	SKデザイン刷毛

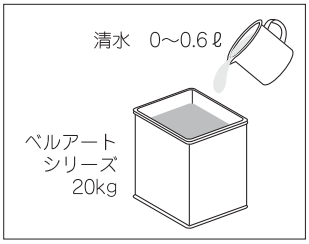
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、Ｐ5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを使用し、全体を均一に配り塗りしてください。所要量は1.5～2.0kg/m²としてください。

5. パターン付け

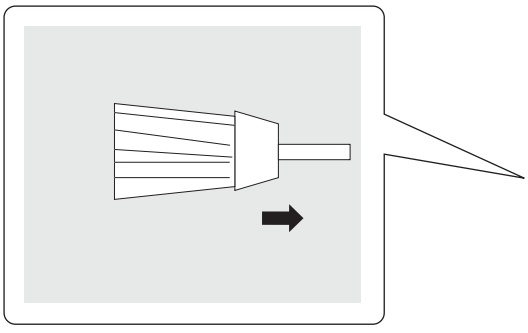
●主材塗付後5分以内（23℃）に、清水を含ませたＳＫデザイン刷毛を用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行い（力を加え、パターン模様をはっきり出す）、事前にパターンの確認を行ってください。その際、ＳＫデザイン刷毛は、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に引かず、手の届く範囲（50～60cm程度）で作業してください。

●SKデザイン刷毛に溜まった塗材は清水で除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。





● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　6～8m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

リップル仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


ＳＫデザイン刷毛

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5～2.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて
		清水	0～3	ー					
5	パターン付け	ＳＫデザイン刷毛で、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	SKデザイン刷毛

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

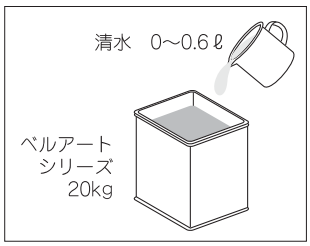
1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを使用し、全体を均一に配り塗りしてください。所要量は1.5～2.0kg/m²としてください。



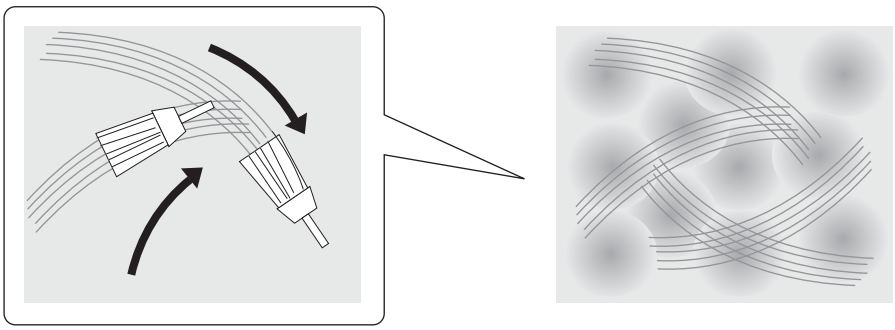
5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、清水を含ませたＳＫデザイン刷毛を用いて、ランダム方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。その際、ＳＫデザイン刷毛は、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●SKデザイン刷毛に溜まった塗材は清水で除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



● 標準塗坪

ベルアートシリーズ　6～8m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

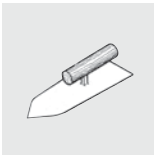
ドロー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


ＳＫデザイン刷毛

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.5	1	ー	5分以内	ー	左官ごて
		清水	3～5	ー					
5	パターン付け	ＳＫデザイン刷毛で、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	SKデザイン刷毛

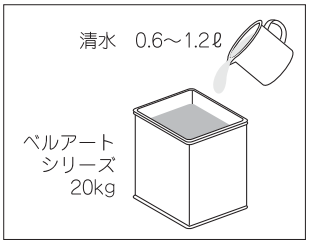
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を3～5%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを使用し、全体を均一に配り塗りしてください。所要量は1.0～1.5kg/m²としてください。

5. パターン付け

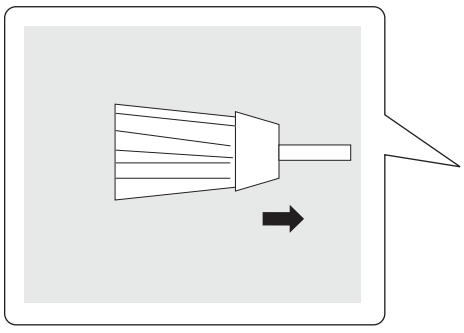
●主材塗付後5分以内（23℃）に、清水を含ませたＳＫデザイン刷毛を用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行い（なでるようにパターン付けを行う。ヘアーライン仕上げより浅い模様）、事前にパターンの確認を行ってください。その際、ＳＫデザイン刷毛は、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に引かず、手の届く範囲（50～60ｃｍ程度）で作業してください。

●SKデザイン刷毛に溜まった塗材は清水で除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。







● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ　7～10m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

テールL仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石8厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


SK仕上げごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	—	5分以内	—	左官ごて スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石8厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	—					
5	パターン付け	SK仕上げごてで、パターン付けをしてください。				—	5分以内	—	SK仕上げごて
6	表面処理	左官ごてにて表面を軽く押さえてパターンを整えてください。				—	—	24以上	左官ごて

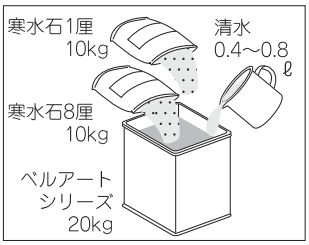
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石8厘10kg、寒水石1厘を10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定となるよう注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、SK仕上げごてに清水を付け、全体を均一かつ平滑になるようにしごいてください。（余分な塗料は除去してください。）その後、SK仕上げごてを一定の方向（右から左、または左から右）にずらしながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。パターン付けは一度に行わず、何度もしごきながら行ってください。

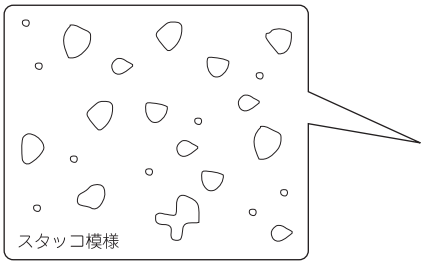
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

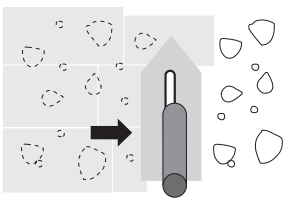
6. 表面処理

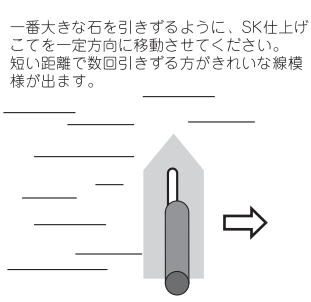
●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。

●SK仕上ごてを強く押さえ過ぎると線模様が出難いので、骨材を引きずるようにしごいてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。







● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶	〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石8厘	20～22m²/袋	
寒水石1厘	20～22m²/袋	

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

テールS仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石5厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


SK仕上げごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	—	5分以内	—	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石5厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	—					
5	パターン付け	SK仕上げごてで、パターン付けをしてください。				—	5分以内	—	SK仕上げごて
6	表面処理	左官ごてにて表面を軽く押さえてパターンを整えてください。				—	—	24以上	左官ごて

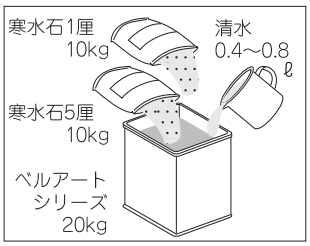
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石5厘10kg、寒水石1厘を10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定となるよう注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

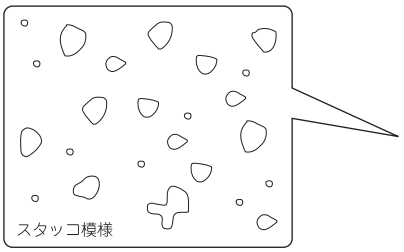
5. パターン付け

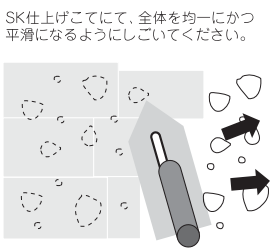
主材塗付後5分以内（23℃）に、SK仕上げごてに清水を付け、全体を均一かつ平滑になるようにしごいてください。（余分な塗料は除去してください）。その後、SK仕上げごてを一定の方向（右から左、または左から右）にずらしながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。パターン付けは一度に行わず、何度もしごきながら行ってください。

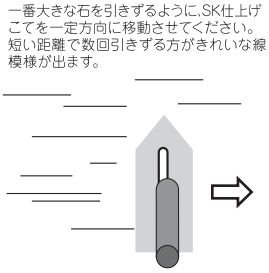
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

6. 表面処理

●パターン付け後、5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。
●SK仕上ごてを強く押さえ過ぎると線模様が出難いので、骨材を引きずるようにしごいてください。
●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。







● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～9m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石5厘	28～34m²/袋
寒水石1厘	28～34m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

シラスL仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


SK波型へらL180mm

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	—	5分以内	—	左官ごて スタッコガン 口径：8～12mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	—					
5	パターン付け	SK波型へらLで、パターン付けをしてください。				—	—	24以上	SK波型へらL

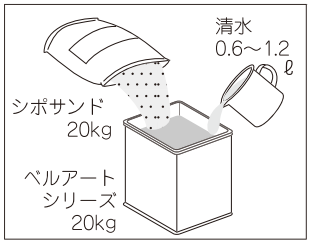
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

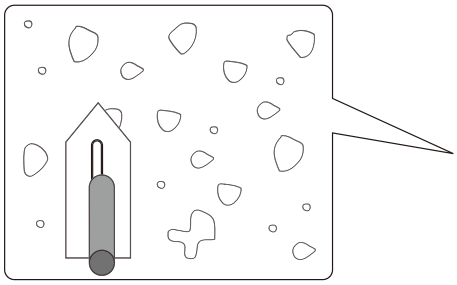
4. 主材塗り②（模様塗り）

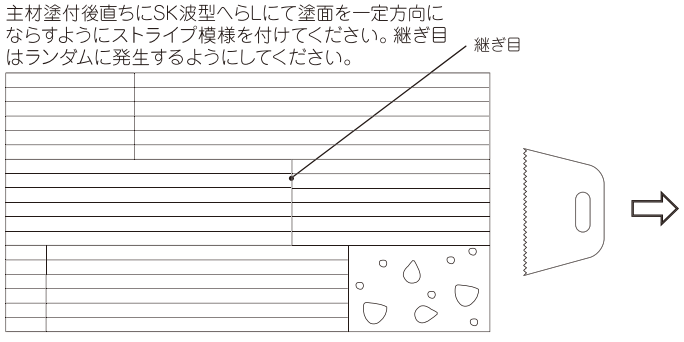


- ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
  （スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

- 主材塗付後5分以内（23℃）に、SK波型へらL180mmにて塗面を一定方向にならすように、ストライプ模様を形成してください。継ぎ目はランダムに発生するようにしてください。なお、事前にパターンの確認を行ってください。
- SK波型へらLに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。
- パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
  （配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。





● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

シラスS仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


SK波型へらS180mm

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	－	5分以内	－	左官ごて タイルガン 口径：8～10mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	0～1	－					
5	パターン付け	SK波型へらSで、パターン付けをしてください。				－	－	24以上	SK波型へらS

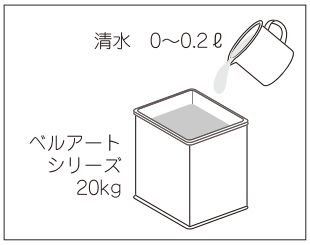
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに対し、清水を0～1%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

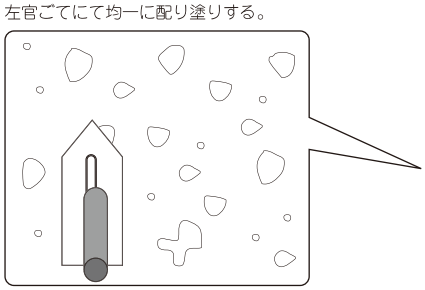
●主材塗付後5分以内（23℃）にSK波型へらS180mmにて塗面を一定方向にならすように、ストライプ模様を形成してください。継ぎ目は ランダムに発生するようにしてください。なお、事前にパターンの確認を行ってください。

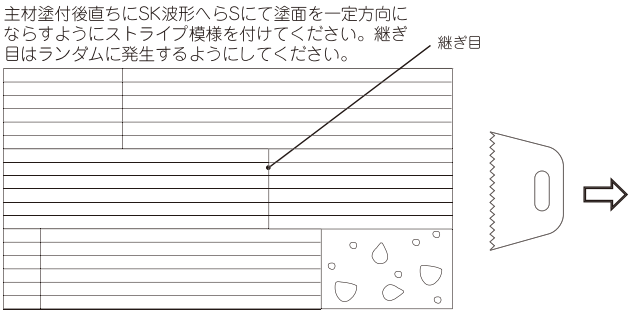
●SK波型へらSに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。

●パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。





● 標準塗坪

ベルアートシリーズ　　4～5m²/缶
〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

プレスL仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石8厘	20kg袋
寒水石5厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石8厘	50						
		寒水石5厘	50						
		清水	1～3	ー					
5	パターン付け	木ごてで、パターン付けをしてください。				ー	5分以内	ー	木ごて
6	表面処理	左官ごてにて表面を軽く押さえてパターンを整えてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

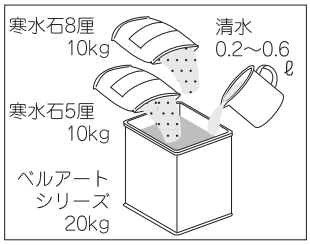
1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに寒水石8厘10kg、寒水石5厘を10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して1～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定となるよう注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に木ごてにて円を描くように平滑にならしながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

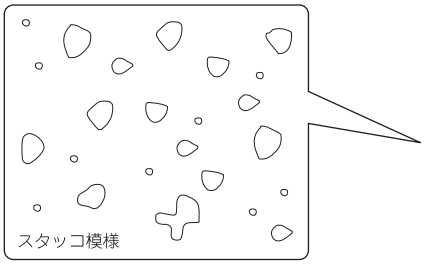
●木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

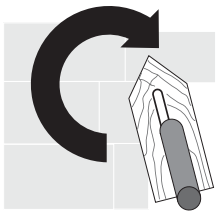
●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

6. 表面処理

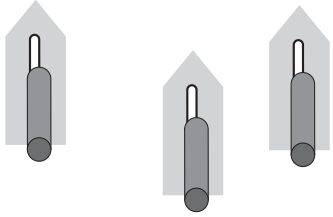
●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。



木ごてにて、円を描くよう
平滑にならしてください。



左官ごてで、塗面を軽く押える様にパターン付けを
行ってください。押え残しのないようにしてください。



● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石8厘	20～22m²/袋
寒水石5厘	20～22m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

プレスS仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

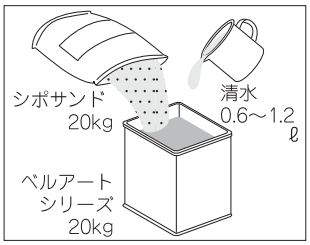
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

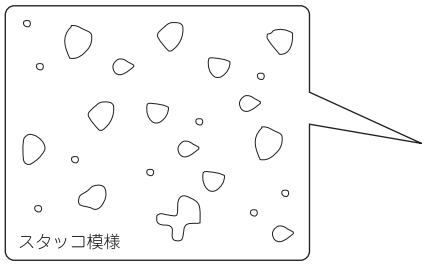
5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に木ごてにて円を描くように平滑にならしながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。





● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～9m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	14～17m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

プロヴァンス仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.0～3.5	1	ー	5分以内	ー	左官ごて スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

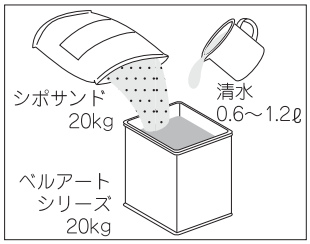
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し清水をベルアートシリーズ100に対して、3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は3.0～3.5kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

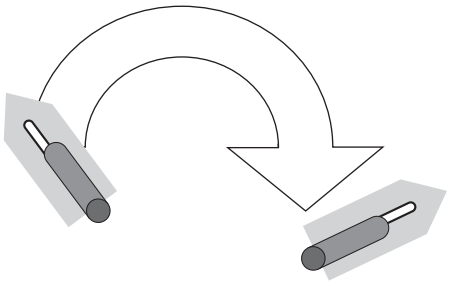
5. パターン付け

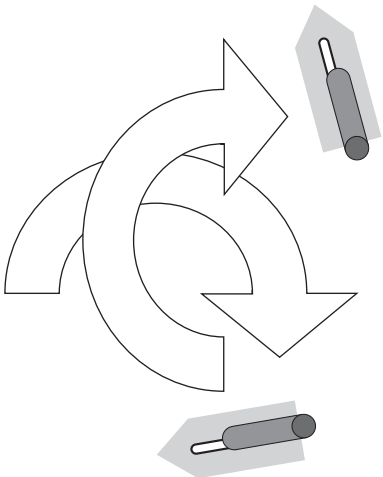
●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてにて、半円を描くように軽くこてすじを付けながら、パターン付けを行い、事前にパターン確認を行ってください。こてすじはランダムにクロスするように付けてください。

●パターンが重なった部分は段差ができるようにパターン付けを行ってください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。





● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～8m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	11～13m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

サンドストーム仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
Nストーン	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.0～2.5	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		Nストーン	50						
		清水	3～5	ー					
5	パターン付け	木ごてで、パターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	木ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

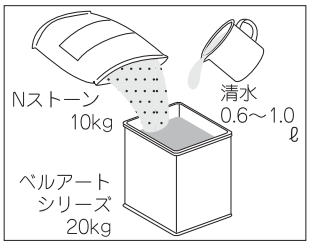
1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgにNストーンを10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して、3～5%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は2.0～2.5kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



5. パターン付け

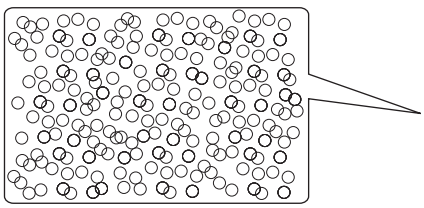
●主材塗付後5分以内（23℃）に清水を付けた木ごてにて全体を均一かつ平滑になるようにならしてください。その後、円を描きながらしごくようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

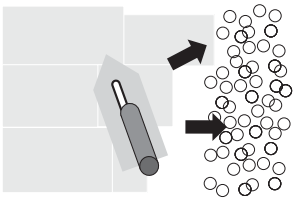
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

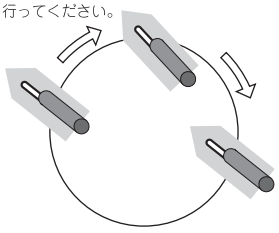
タイル模様をつめて吹く感じで全体を均一に埋めてください。



木ごてにて、全体を均一にかつ平滑になるようにしごいてください。



木ごてにて円を描くようにパターン付けを行ってください。



● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～8m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
Nストーン	24～30m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

スクロール仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石5厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


SK仕上げごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石5厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	ー					
5	パターン付け	SK仕上げごてで、パターン付けをしてください。				ー	5分以内	ー	SK仕上げごて
6	表面処理	左官ごてにて表面を軽く押さえてパターンを整えてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

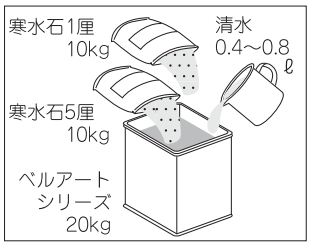
1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに寒水石5厘10kg、寒水石1厘を10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いて全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定となるよう注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



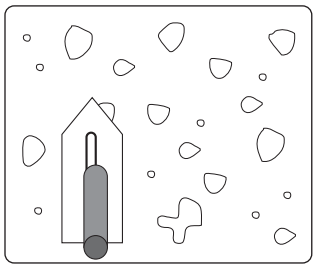
5. パターン付け

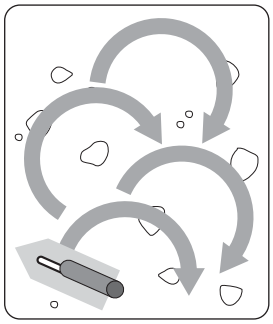
●主材塗付後5分以内（23℃）に、SK仕上げごてに清水を付け、塗面を平滑にしごいて面を整え、弧を描くようにSK仕上げごてをずらしながら、パターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

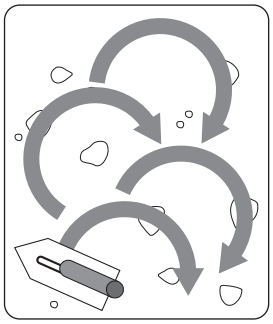
●SK仕上げごてを強く押さえ過ぎると線模様が出難いので、骨材を引きずるようにしごいてください。

●SK仕上げごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）


左官ごてにて均一に配り塗りする。


SK仕上げごてにて塗面に弧を描くように引きずりながらパターン付けする。


左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整える。

6. 表面処理

●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～9m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石5厘	28～34m²/袋
寒水石1厘	28～34m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

シラスAL仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
Nストーン	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


SK波型へらL180mm

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		Nストーン	50						
		清水	0～3	ー					
5	パターン付け	SK波型へらLにて塗面を一定方向にならすようにパターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	SK波型へらL

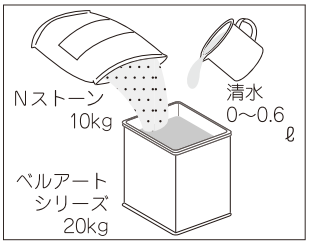
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにNストーン10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、SK波型へらL180mmにて塗面を一定方向にならすようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●パターン付けの時は長い距離を一気に引かず手の届く範囲（50～60cm程度）で作業してください。

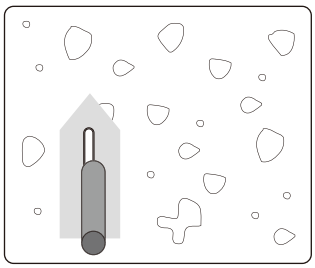
●パターンを継ぐ位置はランダムな位置になるように注意してください。

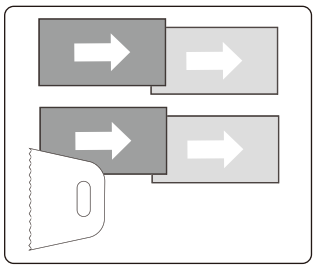
●SK波型へらLに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。

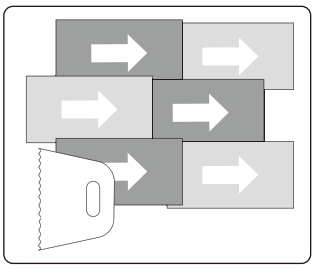
●パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


SK波型へらLを同一方向に動かしてパターン付けする。左右の継ぎはパターンを数cm重ねて行う。


上下の継ぎはSK波型へらLを数cm重ねる様に動かす。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
Nストーン	21～26m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

シラスFL仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


SK波型へらL180mm

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石1厘	50						
		清水	0～3	ー					
5	パターン付け	SK波型へらLにて塗面を一定方向にならすようにパターン付けをしてください。				ー	ー	24以上	SK波型へらL

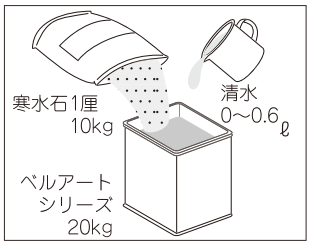
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

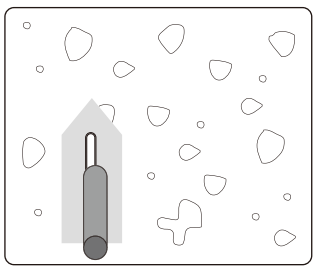
4. 主材塗り②（模様塗り）

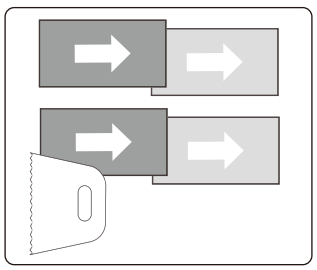


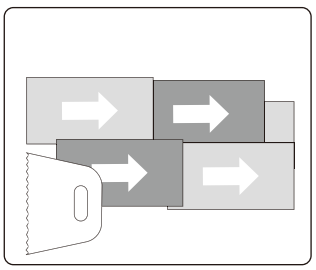
- ベルアートシリーズ20kgに寒水石1厘10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
  （タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

- 主材塗付後5分以内（23℃）に、SK波型へらL180mmにて塗面を一定方向にならすようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。
- パターン付けの時は長い距離を一気に引かず手の届く範囲（50～60cm程度）で作業してください。
- パターンを継ぐ位置はランダムな位置になるように注意してください。
- SK波型へらLに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。
- パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
  （配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


SK波型へらLを同一方向に動かしてパターン付けする。左右の継ぎはパターンを数cm重ねて行う。


上下の継ぎはSK波型へらLを数cm重ねる様に動かす。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石1厘	21～26m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ファンシー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石5厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.3～2.8	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石5厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	ー					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けを行ってください。				ー	ー	24以上	左官ごて

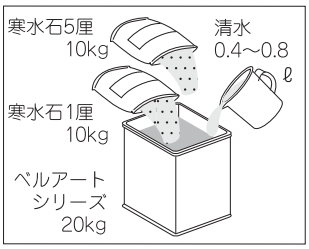
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石5厘10kg、寒水石1厘10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.3～2.8kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

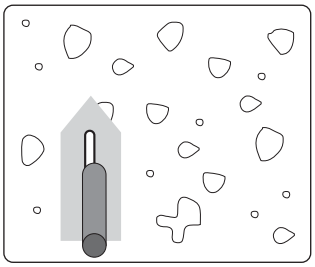
5. パターン付け

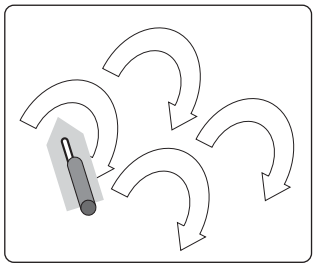
●主材塗付後5分以内（23℃）に左官ごてにて円を描くように塗面を平滑にならしながら、パターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●左官ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごてにて円を描くようにパターン付けする。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～9m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石5厘	28～34m²/袋
寒水石1厘	28～34m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ボルテックス仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
Nストーン	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.0～2.5	1	ー	5分以内	ー	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		Nストーン	50						
		清水	0～3	ー					
5	パターン付け	木ごてで、パターン付けをしてください。				ー	5分以内	ー	木ごて
6	凸部処理	左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

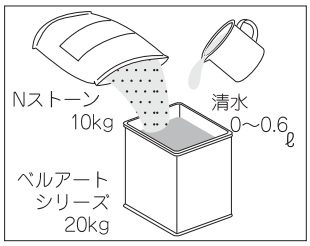
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



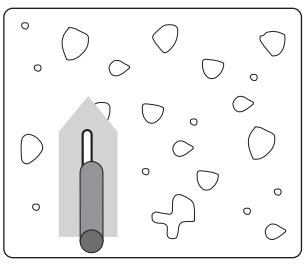
- ベルアートシリーズ20kgにNストーン10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
  テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- 塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.0～2.5kg/m²としてください。
  （タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

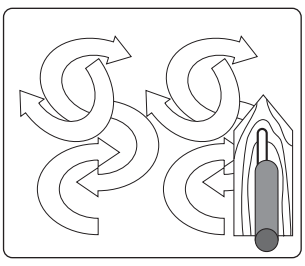
5. パターン付け

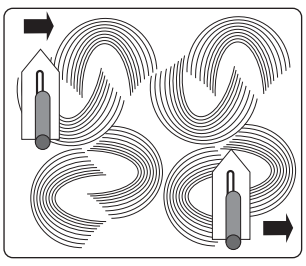
- 主材塗付後5分以内（23℃）に木ごてにて円を描く様にしごいてパターン付けしてください。
- 木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。
- 表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
  （配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

6. 凸部処理

- パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。
- 最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


木ごてにて円を描くようにランダムにパターン付けする。


左官ごてにて凸部を軽く押さえる。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～8m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
Nストーン	24～30m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

シラススムース仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
シポサンド	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


SK波型へらL180mm

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.5～4.0	1	ー	5分以内	ー	左官ごて スタッコガン 口径:8～12mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		シポサンド	100						
		清水	3～6	ー					
5	パターン付け	SK波型へらLで、パターン付けを行ってください。				ー	5分以内	ー	SK波型へらL
6	凸部処理	左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。				ー	ー	24以上	左官ごて

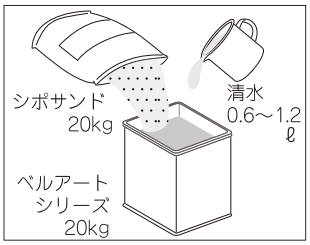
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにシポサンド20kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して3～6%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、SK波型へらL180mmにて塗面を一定方向にならすようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●パターン付けの時は長い距離を一気に引かず手の届く範囲（50～60cm程度）で作業してください。

●パターンを継ぐ位置はランダムな位置になるように注意してください。

●SK波型へらLに溜まった塗材は除去しながらパターン付けしてください。

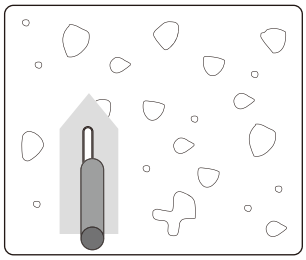
●パターンが重なった部分に塗材が溜まらないように重ねる位置に注意してください。

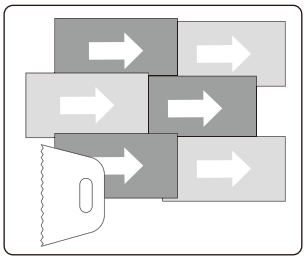
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

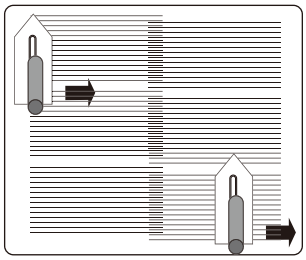
6. 凸部処理

●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


SK波型へらLを同一方向に動かしてパターン付けする。
上下左右の継ぎはパターンを数cm重ねて行う。


左官ごてにて凸部を軽く押さえる。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
シポサンド	10～11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。了承ください。

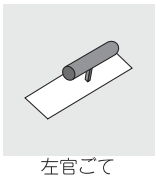
スプラッシュ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
Nストーン	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備考
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.0～2.5	1	—	5分以内	—	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		Nストーン	50						
		清水	0～3	—					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				—	5分以内	—	左官ごて
6	凸部処理	左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。				—	—	24以上	左官ごて

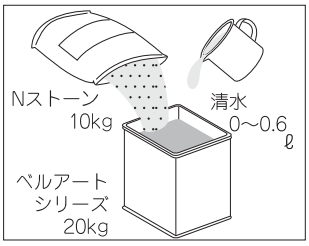
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgにNストーンを10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.0～2.5kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に左官ごてにてランダムにこて跡を付けるようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

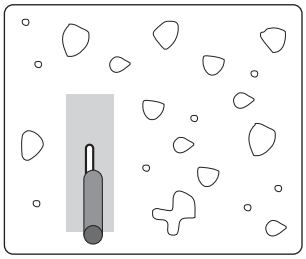
●左官ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

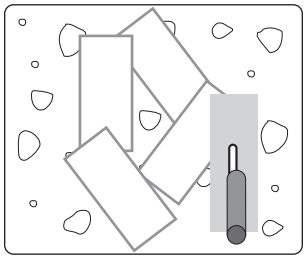
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

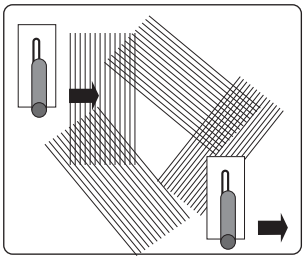
6. 凸部処理

●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて凸部を軽く押さえてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごてにてこて跡を付けるようにパターン付けする。押さえる方向はランダムに行う。


左官ごてにて凸部を軽く押さえる。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～8m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
Nストーン	24～30m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

フェザー仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石5厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	—	5分以内	—	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石5厘	50						
		寒水石1厘	50						
		清水	2～4	—					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けを行ってください。				—	—	24以上	左官ごて

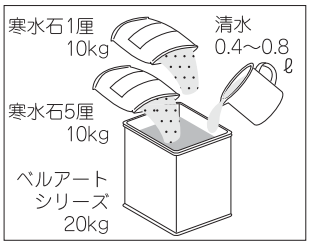
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石5厘10kg、寒水石1厘10kgをそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して2～4%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

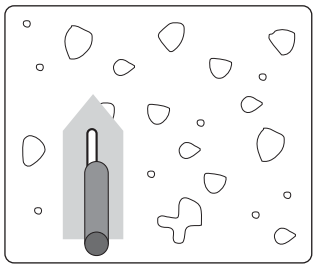
●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごての先を立てて、塗面を引き摺るようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

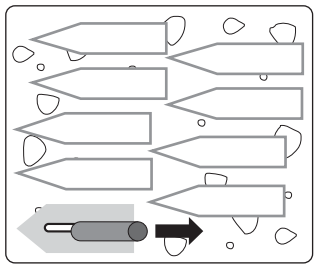
●パターンを継ぐ位置はランダムな位置になるように注意してください。

●左官ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごての先にて引き摺るようにパターン付けする。パターンの継ぎはランダムな位置で行う。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	8m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石5厘	26～32m²/袋
寒水石1厘	26～32m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ジェラート仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.5～2.0	1	—	5分以内	—	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石1厘	50						
		清水	0～3	—					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				—	—	24以上	左官ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

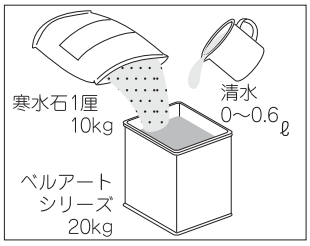
1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに寒水石10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は1.5～2.0kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）



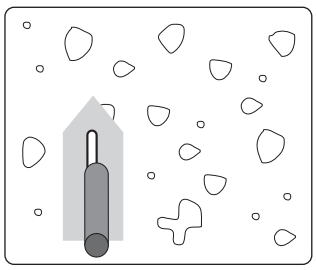
5. パターン付け

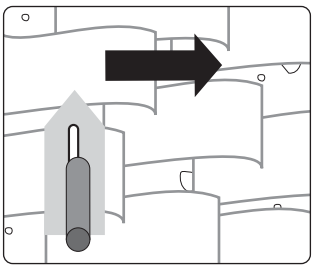
●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面をならすようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去しながらパターン付けしてください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごてにてならすようにパターン付けする。
パターンの継ぎはランダムな位置で行う。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	7～10m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石1厘	30～40m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ラフウェーブ仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


タイルガン

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	2.0～2.5	1	—	5分以内	—	左官ごて タイルガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石1厘	50						
		清水	0～3	—					
5	パターン付け	左官ごてで、パターン付けをしてください。				—	—	24以上	左官ごて

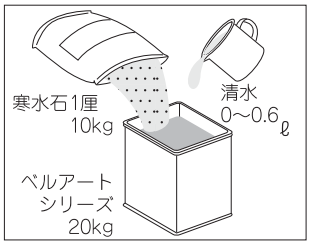
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3.主材塗り①（基層塗り）

上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）



●ベルアートシリーズ20kgに寒水石1厘10kgを混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体を均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるように注意してください。所要量は2.0～2.5kg/m²としてください。
（タイルガン：口径8～10mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

5. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてにて弧を描くようにパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●パターンは重なる様に付け、規則的な模様にならないように注意してください。

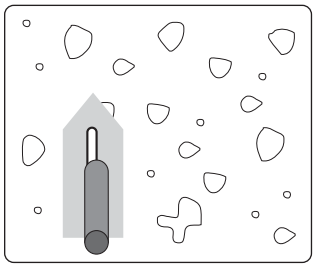
●配り塗りの所要量が多過ぎたり、パターン付けの時にこてで強く押さえ過ぎたりすると線模様が崩れますので、注意してください。

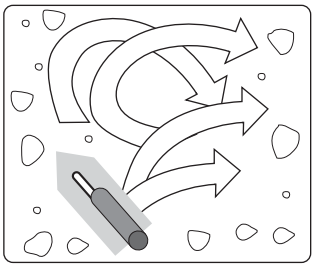
●ピンホールなどがでないように塗面をよくならしてからパターン付けしてください。

●左官ごてに付着した塗材は適度に除去してください。

●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。


左官ごてにて均一に配り塗りする。


左官ごてにて弧を描くようにパターン付けする。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	6～7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
寒水石1厘	20～22m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ラフウェーブ2色仕上げ

材料荷姿

ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
弾性ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
ベルアートSi	A色／B色	20kg石油缶
寒水石1厘		20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具



左官ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け	ベルアートシリーズA色	100	2.0～2.5	1	—	—	24以上	左官ごて
		寒水石1厘	50						
		清水	0～3						
		ベルアートシリーズB色	100						
		寒水石1厘	50						
		清水	0～3						
		左官ごてにて弧を描くように配り塗りしながらパターン付けを行ってください。							

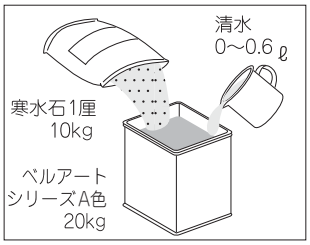
注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

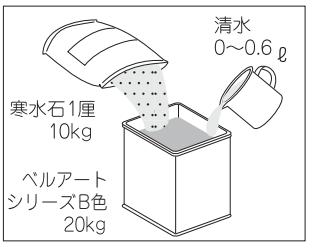
● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

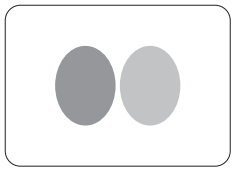
上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け

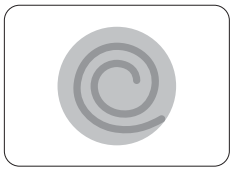




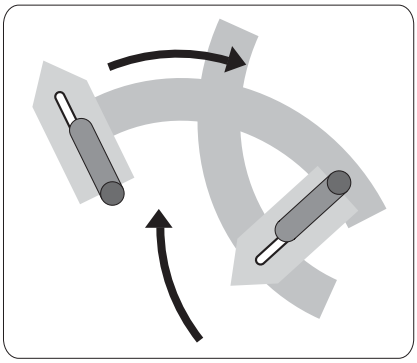
- ●ベルアートシリーズA色及びB色20kgに対し、寒水石1厘をそれぞれ10kgを混合し、清水をベルアートシリーズA色及びB色100に対して0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。
- ●こて板に各色を約1：1の比率で載せ、こて先で軽く混ぜてください。
- ●塗装は、左官ごてを使用し、弧を描く様に配り塗りとパターン付けを同時に、できるだけ一度で行い、事前にパターンの確認を行ってください。所要量は2.0～2.5kg/m²ととしてください。
- ●パターン付けはできるだけ1度で行ってください。何度も塗り重ねると色が滲むので注意してください。
- ●パターンの山の部分は同じ高さに揃えずに、ランダムな位置になるようにしてください。
- ●左官ごてに付いた塗料はそのつど拭き取ってから次のパターン付けを行ってください。
- ●パターン付けをやり直す場合は、塗付した塗材をいったん除去してから行ってください。
- ●A色とB色の混合比率は1:1を原則とし、周囲の色相と比較しながら、微調整してください。
- ●配り塗りの所要量が多過ぎたり、パターンを付けの時にこてで強く押さえ過ぎたりすると線模様が崩れますので、注意してください。
- ●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



A色とB色をこて板に同量載せる。



各色がにじまないように軽く混ぜ合わせる。



左官ごてにて弧を描くように配り塗りと、パターン付けをランダムに同時にする。

（注意事項）

- ●2色のうち、薄い色をA色、濃い色をB色とし、基層塗りはA色で行ってください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	A色	9～12m²/缶
		〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
	B色	20～30m²/缶
寒水石1厘		24～30m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

ウェザードロック仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石8厘	20kg袋
寒水石5厘	20kg袋
寒水石3厘	20kg袋
寒水石1厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


SKKスーパーガン（万能ガン）


左官ごて


スタッコガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備考
3	主材塗り①（基層塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	—	16以上	—	SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		清水	10～15	—					
4	目地割り	元請と協議の上、目地棒の使用方法、施工手順、美観を決定してください。				—	—	—	————
5	墨出し	仕上りのための基準線を打ってください。				—	—	—	————
6	目地棒貼り	白色離型紙を剥がし、墨出しに合わせて正確に貼ってください。				—	16以内	—	————
7	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	3.0～3.5	1	—	5分以内	—	左官ごて スタッコガン 口径：8～12mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		寒水石8厘	50						
		寒水石5厘	50						
		清水	1～3	—					
8	パターン付け	木ごてで、平滑にならしてください。				—	20分以内	—	木ごて
9	青色離型紙の除去	目地棒の上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。				—	16以上	—	————
10	主材塗り③（模様塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	—	20分以内	—	SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6f/cm²）
		寒水石3厘	25						
		寒水石1厘	50						
		清水	15～20	—					
11	目地取り	主材塗り後、すぐに目地棒芯材を除去してください。				—	—	24以上	————

● 標準施工要領

1. 下地～2.下塗り

上記工程の詳細は、P5～6を参照してください。

3. 主材塗り①（基層塗り）

●ベルアートシリーズ20kgに対して清水を10～15%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mm、圧力392～588kpa（4～6kgf/cm²）を用いてください。
主材は、均一にむらなく下地が隠ぺいするよう塗付し、所要量は1.0～1.2kg/m²としてください。

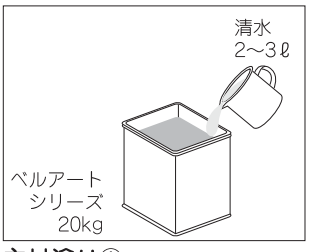
●塗付後16時間以上（23℃）乾燥養生してください。

4. 目地割り

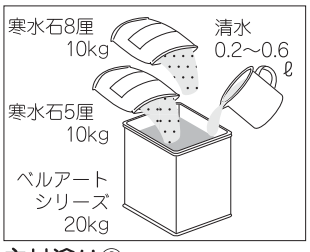
●施工面が設計通りの寸法になっているか、あらかじめ確認してください。

●現場にて目地割りする場合は、元請と協議の上、目地幅、施工手順、美観等を決定してください。

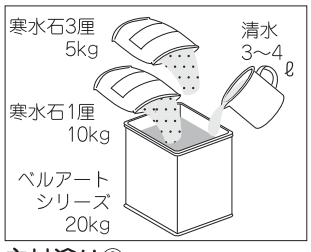
●大壁面に施工される場合は、最大でも1.5m×1.5mピッチ以内に目地を入れるようにしてください。



主材塗り①

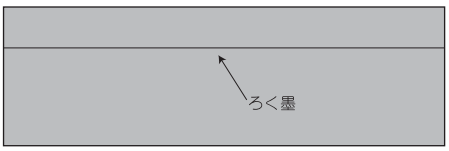


主材塗り②

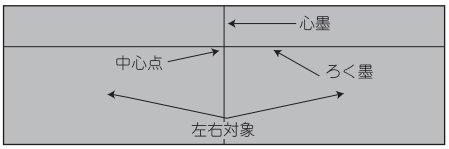


主材塗り③

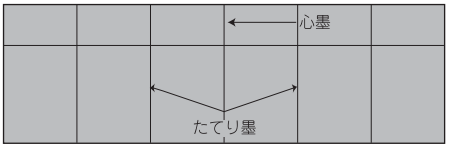
5. 墨出し



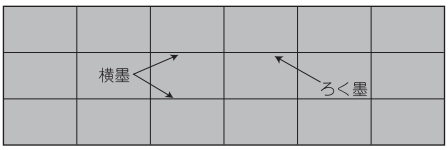
●トランシットまたは水盛缶等を使用し、ろく墨（基準となる水平線）を全ての施工面に打ってください。墨出しはチョークラインをご使用ください。



●巻尺またはスケールを使用してろく墨の中心点を求めてください。下げ振りまたはトランシットを使用し、中心点を垂直に通るように心墨（この線より目地材を貼り始め、割り付けが左右対象になるように調整が必要です）を打ってください。



●心墨を中心にして所定間隔にたてり墨を打ってください。



●所定の間隔で、ろく墨と平行に横墨を打ってください。

6. 目地棒貼り

●墨出しした線に沿って目地棒を貼り付けてください。

●目地棒貼り付け後16時間以内（23℃）に主材塗りを行ってください。

7. 主材塗り②（模様塗り①）

●ベルアートシリーズ20kgに対して寒水石8厘を10kg、寒水石5厘を10kgそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して1～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、左官ごてを用いて、全体に均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は膜厚が均一になるように注意してください。所要量は3.0～3.5kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

8. パターン付け

●主材塗付後5分以内（23℃）に、木ごてを使用し、円を描くように塗面を平滑にならしてください。

●木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去してください。

9. 青色離型紙の除去

●パターン付け後20分以内（23℃）に目地棒上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。

●除去後16時間以上（23℃）乾燥養生してください。

10. 主材塗り③（模様塗り②）

●ベルアートシリーズ20kgに寒水石3厘を5kg、寒水石1厘を10kgそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズ100に対して15～20%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●塗装は、SKKスーパーガン（万能ガン）口径4～6mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）を用いてください。主材は、全体を均一に塗付し、所要量は1.0～1.2kg/m²としてください。

●SKKスーパーガン（万能ガン）による模様塗りは吹きムラや足場継ぎムラを起こさぬよう1スパン毎に塗付してください。

11. 目地取り

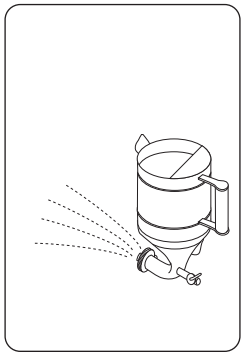
●主材塗付後20分以内（23℃）に、目地棒芯材を素早く取り除いてください。

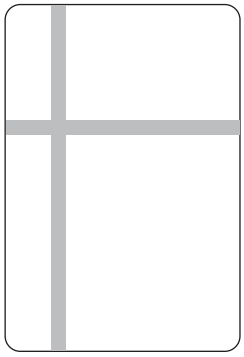
●除去後24時間以上（23℃）乾燥養生してください。

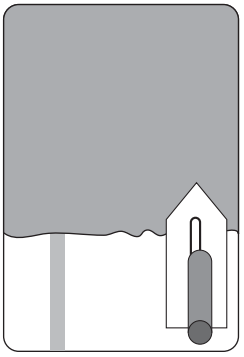
（注意事項）

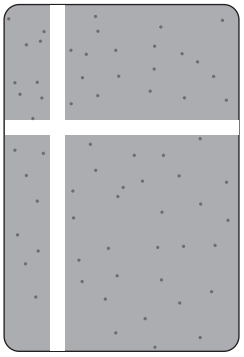
●目地棒の付着性を考慮し、基層塗り時の塗膜表面はできるだけ平滑に塗付してください。

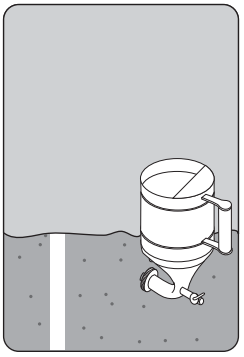
●目地色は主材同色を原則としてください。


SKKスーパーガン（万能ガン）にて均一に基層塗りする。


墨出しに沿って目地棒を貼り付ける。


主材を配り塗りし、木ごてにて平滑にならす。


目地棒上層部の青色離型紙を除去する。


SKKスーパーガン（万能ガン）にて均一に模様塗りする。塗付後すぐに目地棒芯材を除去する。

● **標準塗坪** ※

ベルアートシリーズ	5～6m²/缶
寒水石8厘	22～26m²/袋
寒水石5厘	22～26m²/袋
寒水石3厘	117～142m²/袋
寒水石1厘	58～70m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

プレスL2色仕上げ

材料荷姿

ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
弾性ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
ベルアートSi	A色／B色	20kg石油缶
寒水石8厘		20kg袋
寒水石5厘		20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


スタッコガン


木ごて

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
4	主材塗り①（模様塗り）	ベルアートシリーズA色	100	3.5～4.0	1	—	5分以内	—	左官ごて スタッコガン 口径:8～10mm 圧力:392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		寒水石8厘	50						
		寒水石5厘	50						
		清水	1～3	—					
5	主材塗り②（模様塗り）	ベルアートシリーズB色	100	0.2～0.4	1	—	5分以内	—	左官ごて
		寒水石8厘	50						
		寒水石5厘	50						
		清水	1～3	—					
6	パターン付け	木ごてにて円を描くように平滑にならしながら、パターン付けをしてください。				—	5分以内	—	木ごて
7	表面処理	左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。				—	—	24以上	左官ごて

注）大壁面への施工の場合は、最大でも1.5m×1.5m以内に装飾養生（または化粧目地）を設けるようにしてください。

● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

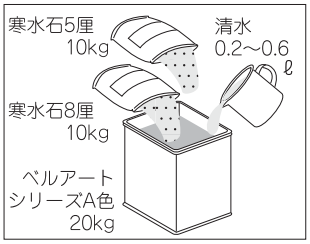
上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 主材塗り①（模様塗り）

●ベルアートシリーズA色に寒水石8厘を10kg、寒水石5厘を10kgそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズA色100に対して1～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

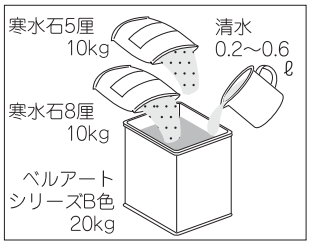
●塗装は、左官ごてを用いて、A色を全体に均一に配り塗りしてください。左官ごてを使用する場合は、膜厚が一定になるよう注意してください。所要量は3.5～4.0kg/m²としてください。
（スタッコガン：口径8～12mm、圧力392～588kPa（4～6kgf/cm²）での配り塗りも可能）

主材塗り①



5. 主材塗り②（模様塗り）

主材塗り②



●ベルアートシリーズB色に寒水石8厘を10kg、寒水石5厘を10kgそれぞれ加え、均一に混合し、清水をベルアートシリーズB色100に対して1〜3%の範囲で加え十分に撹拌してください。テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●ベルアートシリーズA色塗付後5分以内（23℃）に、左官ごてにて部分的に追い塗りしてください。所要量は0.2〜0.4kg/m²としてください。

●追い塗りの所要量により色相が変わります。必ず試験施工を行い、色相を調整してください。

6. パターン付け

●ベルアートシリーズB色塗付後5分以内（23℃）に、木ごてを使用し、円を描くように塗面を平滑にならしながら、パターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。

●木ごてに付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

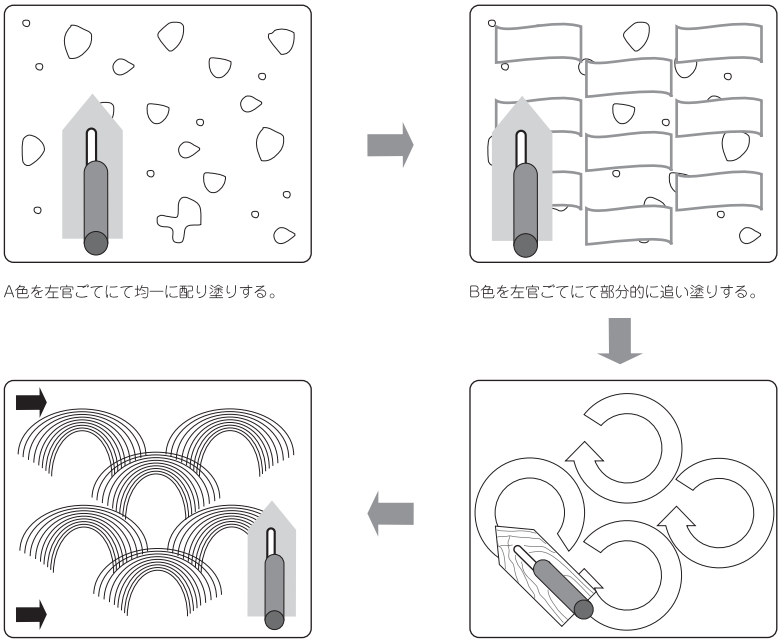
●表面乾燥が始まりますとパターン出しが困難になります。パターン付けは配り塗り後、直ちに行ってください。
（配り塗り手とパターン出し手がペアになり、同時に進行できるようにしてください。配り塗り手が先行しないように心掛けてください。）

●同じ部分を何度もパターン付けすると色が滲みますので、ご注意ください。

7. 表面処理

●パターン付け後5分以内（23℃）に、左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整えてください。

●最終養生時間は24時間以上（23℃）としてください。



A色を左官ごてにて均一に配り塗りする。

B色を左官ごてにて部分的に追い塗りする。

木ごてにて円を描くようにパターン付けする。

左官ごてにて塗面を軽く押さえてパターンを整える。

（注意事項）

●2色のうち、薄い色をA色、濃い色をB色とし、基層塗りはA色で行ってください。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	A色	6〜7m²/缶 〔主材塗り①（基層塗り）の所要量を含んでいます。（7頁参照）〕
	B色	100〜200m²/缶
寒水石8厘		18〜21m²/袋
寒水石5厘		18〜21m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

サガン仕上げ

材料荷姿

ベルアート	20kg石油缶
弾性ベルアート	20kg石油缶
ベルアートSi	20kg石油缶
寒水石3厘	20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


左官ごて


SKKスーパーガン（万能ガン）


SKデザイン刷毛

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
3	主材塗り①（基層塗り）	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	—	16以上	—	左官ごて SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	0～15	—					
4	目地割り	元請と協議の上、目地棒の使用方法、施工手順、美観を決定してください。				—	—	—	————
5	墨出し	仕上りのための基準線を打ってください。				—	—	—	————
6	目地棒貼り	白色離型紙を剥がし、墨出しに合わせて正確に貼ってください。				—	16以内	—	————
7	主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け	ベルアートシリーズ	100	2.5～3.0	1	—	5分以内	—	左官ごて
		寒水石3厘	50						
		清水	0～3						
		左官ごてにて配り塗りしながらパターン付けしてください。							
8	表面処理	清水で湿らせたSKデザイン刷毛にて塗面を軽く撫でて線模様を付けてください。				—	20分以内	—	SKデザイン刷毛
9	青色離型紙の除去	目地棒の上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。				—	24以上	—	————
10	目地取り	主材乾燥後、目地棒芯材を除去してください。				—	—	—	————

● 標準施工要領

1. 下地～3. 主材塗り①（基層塗り）

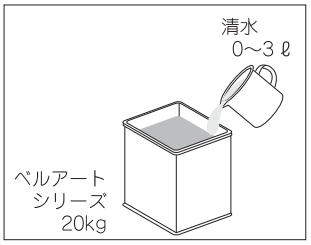
上記工程の詳細は、P5～7を参照してください。

4. 目地割り

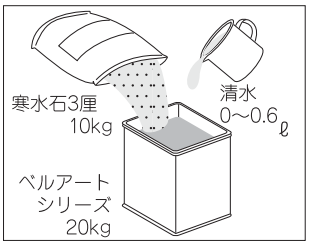
●施工面が設計通りの寸法になっているか、あらかじめ確認してください。

●現場にて目地割りする場合は、元請と協議の上、目地幅、施工手順、美観等を決定してください。

●大壁面に施工される場合は、最大でも1.5m×1.5mピッチ以内に目地を入れるようにしてください。



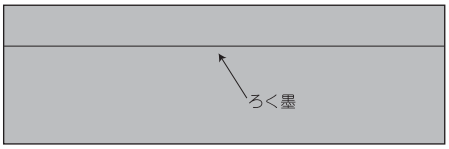
主材塗り①



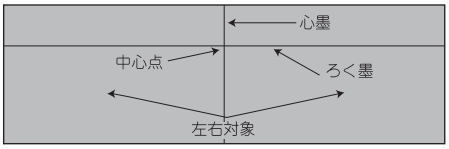
主材塗り②

5. 墨出し

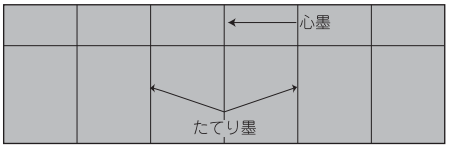
●トランシットまたは水盛缶等を使用し、ろく墨（基準となる水平線）を全ての施工面に打ってください。墨出しはチョークラインをご使用ください。



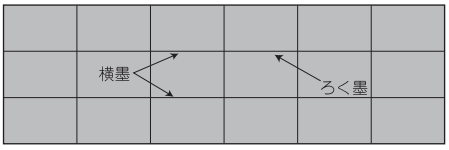
●巻尺またはスケールを使用してろく墨の中心点を求めてください。下げ振りまたはトランシットを使用し、中心点を垂直に通るように心墨（この線より目地材を貼り始め、割り付けが左右対象になるように調整が必要です）を打ってください。



●心墨を中心にして所定間隔にたてり墨を打ってください。



●所定の間隔で、ろく墨と平行に横墨を打ってください。



6. 目地棒貼り

●墨出しした線に沿って目地棒を貼り付けてください。
●目地棒貼り付け後16時間以内（23℃）に主材塗りを行ってください。

7. 主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け

●ベルアートシリーズ20kgに対して寒水石3厘を10kg加え、均一に混合し、ベルアートシリーズ100に対して清水を0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
●塗装は、左官ごてを用いて、配り塗りしながらパターン付けを行い、事前にパターンの確認を行ってください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。
●パターンができるだけ揃わないように、周囲のパターンと見比べながらパターン付けしてください。

8. 表面処理

●主材塗付後5分以内（23℃）に、清水で湿らせたSKデザイン刷毛にて塗面のパターン方向に沿って軽く線模様を付けてください。
●SKデザイン刷毛に清水を付け過ぎないようにしてください。また塗面に線模様を付ける場合、強く押さえ過ぎないように注意してください。
●SKデザイン刷毛に付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

9. 青色離型紙の除去

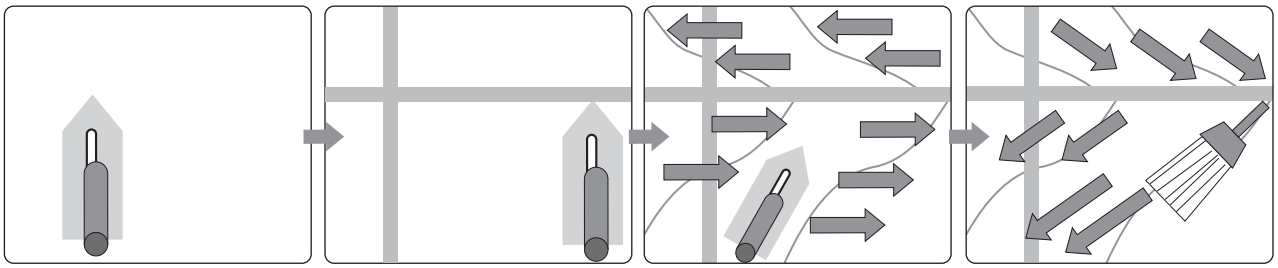
●表面処理後20分以内（23℃）に目地棒上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。

10. 目地取り

●除去後24時間以上（23℃）乾燥養生してから目地棒芯材を除去してください。

（注意事項）

●目地棒の付着性を考慮し、基層塗り時の塗膜表面はできるだけ平滑に塗付してください。
●目地色は主材同色を原則としてください。



左官ごてにて均一に基層塗りする。　墨出しに沿って目地棒を貼り付ける。　左官ごてにて主材を配り塗りしながら、パターン付けする。　SKデザイン刷毛にて塗面に線模様を付ける。

● **標準塗坪** ※　ベルアートシリーズ　6～7m²/缶
寒水石3厘　20～24m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

サガン2色仕上げ

材料荷姿

ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
弾性ベルアート	A色／B色	20kg石油缶
ベルアートSi	A色／B色	20kg石油缶
寒水石3厘		20kg袋

注）製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

塗装器具


SKKスーパーガン（万能ガン）


左官ごて


SKデザイン刷毛

● 標準施工仕様

（23℃）

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）			備考
						工程内	工程間	最終養生	
3	主材塗り①（基層塗り）	ベルアートシリーズA色	100	1.0～1.2	1	—	16以上	—	左官ごて SKKスーパーガン（万能ガン） 口径：4～6mm 圧力：392～588kPa（4～6kgf/cm²）
		清水	0～15	—					
4	目地割り	元請と協議の上、目地棒の使用方法、施工手順、美観を決定してください。				—	—	—	————
5	墨出し	仕上りのための基準線を打ってください。				—	—	—	————
6	目地棒貼り	白色離型紙を剥がし、墨出しに合わせて正確に貼ってください。				—	16以内	—	————
7	主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け	ベルアートシリーズA色	100	2.5～3.0	1	—	5分以内	—	左官ごて
		寒水石3厘	50						
		清水	0～3						
		ベルアートシリーズB色	100						
		寒水石3厘	50						
		清水	0～3						
		左官ごてにて配り塗りしながらパターン付けしてください。							
8	表面処理	清水で湿らせたSKデザイン刷毛にて塗面を軽く撫でて線模様を付けてください。				—	20分以内	—	SKデザイン刷毛
9	青色離型紙の除去	目地棒の上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。				—	24以上	—	————
10	目地取り	主材乾燥後、目地棒芯材を除去してください。				—	—	—	————

● 標準施工要領

1. 下地～2.下塗り

上記工程の詳細は、P5～6を参照してください。

3. 主材塗り①（基層塗り）

●ベルアートシリーズA色20kgに対して清水を0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●左官ごてを用いてください。主材は均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、所要量は1.0～1.2kg/m²としてください。
（SKKスーパーガン（万能ガン）：口径4～6mm、圧力392～588kpa（4～6kgf/cm²）、希釈率10～15%での基層塗りも可能）

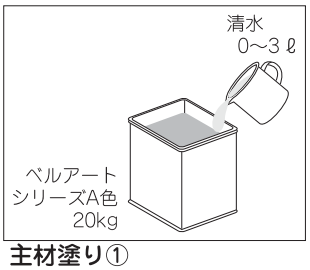
●塗付後16時間以上（23℃）乾燥養生してください。

4. 目地割り

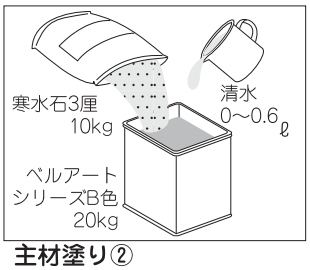
●施工面が設計通りの寸法になっているか、あらかじめ確認してください。

●現場にて目地割りする場合は、元請と協議の上、目地幅、施工手順、美観等を決定してください。

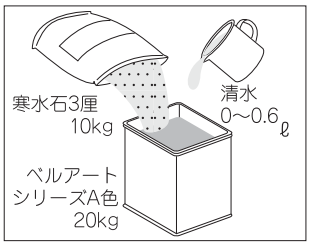
●大壁面に施工される場合は、最大でも1.5m×1.5mピッチ以内に目地を入れるようにしてください。



主材塗り①

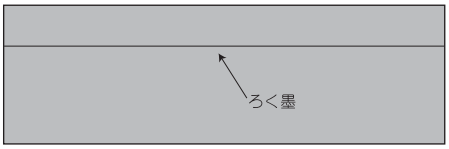


主材塗り②

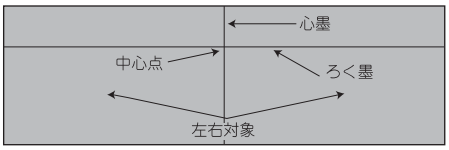


5. 墨出し

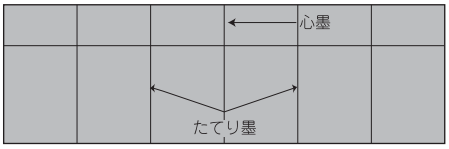
●トランシットまたは水盛缶等を使用し、ろく墨（基準となる水平線）を全ての施工面に打ってください。墨出しはチョークラインをご使用ください。



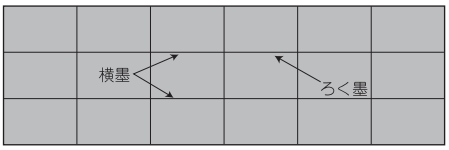
●巻尺またはスケールを使用してろく墨の中心点を求めてください。下げ振りまたはトランシットを使用し、中心点を垂直に通るように心墨（この線より目地材を貼り始め、割り付けが左右対象になるように調整が必要です）を打ってください。



●心墨を中心にして所定間隔にたてり墨を打ってください。



●所定の間隔で、ろく墨と平行に横墨を打ってください。



6. 目地棒貼り

●墨出しした線に沿って目地棒を貼り付けてください。

●目地棒貼り付け後16時間以内（23℃）に主材塗りを行ってください。

7. 主材塗り②（模様塗り）及びパターン付け

●ベルアートシリーズA色及びB色20kgに寒水石3厘を10kg加え、均一に混合し、ベルアートシリーズA色及びB色に対して清水を0～3%の範囲で加え十分に撹拌してください。
テスト塗りを行いながら各種条件を決めてください。

●こて板に各色を約1：1の比率で載せ、軽く混ぜてください。

●左官ごてを用いて、配り塗りしながらパターン付けをできるだけ一度で行い、事前にパターンの確認を行ってください。所要量は2.5～3.0kg/m²としてください。

●パターン付けはできるだけ一度で行ってください。何度も塗り重ねると色が滲むので注意してください。

●左官ごてに付いた塗料はそのつど拭き取ってから次のパターン付けを行ってください。

●パターン付けをやり直す場合は、塗付した塗材をいったん除去してから行ってください。

●パターンができるだけ揃わないように、周囲のパターンと見比べながらパターン付けしてください。

8. 表面処理

●主材塗付後5分以内（23℃）に、清水で湿らせたSKデザイン刷毛にて塗面のパターン方向に沿って軽く線模様を付けてください。

●SKデザイン刷毛に清水を付け過ぎないようにしてください。また塗面に線模様を付ける場合、強く押さえ過ぎないように注意してください。

●SKデザイン刷毛に付着した塗材は清水にて適度に除去しながらパターン付けしてください。

9. 青色離型紙の除去

●表面処理後20分以内（23℃）に目地棒上層部にある青色離型紙を素早く取り除いてください。

10. 目地取り

●除去後24時間以上（23℃）乾燥養生してください。

（注意事項）

●目地棒の付着性を考慮し、基層塗り時の塗膜表面はできるだけ平滑に塗付してください。

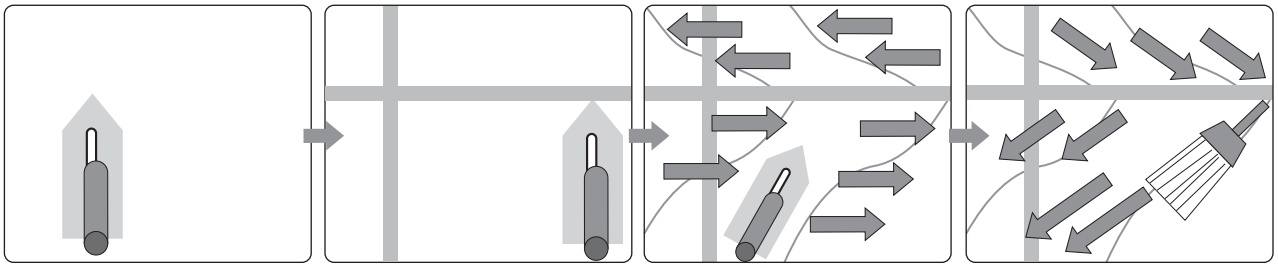
●目地色は主材同色を原則としてください。

●2色のうち、薄い色をA色、濃い色をB色とし、基層塗りはA色で行ってください。

●A色とB色の混合比率は1：1を原則とし、周囲の色相と比較しながら、微調整してください。



A色とB色をこて板に同量載せる。　　各色がにじまないように軽く混ぜ合わせる。



左官ごてにて均一に基層塗りする。　墨出しに沿って目地棒を貼り付ける。　左官ごてにて主材を配り塗りしながら、パターン付けする。　SKデザイン刷毛にて塗面に線模様を付ける。

● 標準塗坪 ※

ベルアートシリーズ	A色	10m²/缶
	B色	20〜24m²/缶
寒水石3厘		10〜11m²/袋

※ 上記の標準塗坪は、一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

超低汚染仕様（オプション）：ベルアートシリーズ共通

● 超低汚染型水性クリヤートップ「SKセラミファイントップ」の使用で、超低汚染性を実現

弾性ベルアートを例に、上塗りにSKセラミファイントップを用いた場合の汚染性比較の試験結果は、以下のようになります。

【屋外暴露試験6ヶ月後の性能比較】

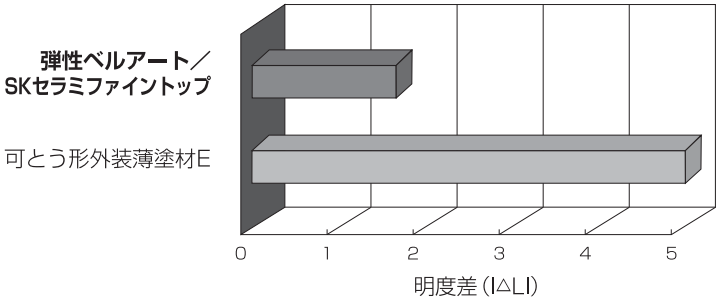


弾性ベルアート＋SKセラミファイントップ



可とう形外装薄塗材E

【屋外暴露6ヶ月後の性能比較】



※明度差（I△LI）の数値が小さいほど、防汚性に優れている。

標準施工仕様例

● ベルアートシリーズ　フラット仕上げ／外装仕様（新築）

（23℃）

工　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg/m²）	塗回数	間隔時間（hr）		
					工程内	工程間	最終養生
下地調整	・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。						
下塗り	水性ミラクシーラーエコ（クリヤー/ホワイト）	既調合	0.10～0.13	1	ー	2以上	ー
主材塗り①：基層塗り	ベルアートシリーズ	100	1.0～1.2	1	ー	2以上	ー
	清　　水	10～15	ー				
主材塗り②：模様塗り	ベルアートシリーズ	100	0.8～1.0	1	ー	16以上	
	清　　水	10～15	ー				
上塗り※1,2,3,4,5,6	SKセラミファイントップ	即調合	0.14～0.18	2	2～7日以内	ー	24以上

※1. SKセラミファイントップはスプレーガンまたはエアレススプレーガンで吹き付けてください。塗回数は必ず2回とし、所要量は0.14～0.18kg/㎡としてください。
※2. エアレススプレーガンは、吐出量400～600ml／分、パターン幅25～30㎝のものを使用してください。
※3. SKセラミファイントップに塗り残しがある場合には、汚染ムラが発生するため、塗り残しのない様に塗装してください。
※4. SKセラミファイントップは、溜まり部分ができる限り生じない様に均一に塗装してください（過剰塗付した場合、低汚染性にムラが発生することがあります）。
※5. 2回吹きの工程内間隔時間は、2時間以上7日以内としてください。
※6. 最終養生は24時間以上としてください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨があった場合、汚染の原因につながることがあります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、所定の乾燥時間を厳守してください。施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨がかからない部位などは注意が必要です。
※7. 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材には可塑剤（油分）を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
※8. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、林齢により密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
※9. SKセラミファイントップはカラーリングしておりますが、数日で色が消えます。
※10. 下塗り、主材塗りに関しては、各材料の施工仕様書に基づき施工を行ってください。

● 荷姿

★SKセラミファイントップ　　14kg／石油缶　（標準塗坪：78~100㎡／缶）*

＊上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。
★本製品は水性塗料ですが、アルコールを含有しているため火気厳禁です。但し、消防法の分類では非危険物となります。

※詳しくは最寄りの各営業所にお問い合わせください。

施工上の注意事項

ご使用前には、各製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。
本パンフレットでは、一般的な施工仕様を記載しています。下地の種類及び状況、用途などにより仕様が変わることがあります。詳しくは、最寄りの各営業所にお問い合わせいただくか、それぞれの施工要領書を別途ご参照ください。

□ ＡＬＣパネル、多孔質下地、粗面及び、その他下地に問題がある場合には、カケンフィラー（粉体／20袋、混和液／10石油缶）、ミラクファンドKC－1000（粉体／20袋、混和液／5缶）、またはSFアンダー（20石油缶）などで下地調整を行ってください。なお、改装工事には、ミラクファンド各種をご使用ください。
□ 下地がコンクリートの場合には、付着物などを除去し、下地をよく乾燥させ、含水率10％以下・pH10以下としてください。（JASS23 吹付工事参照）
□ 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
□ 既調合タイプの材料を希釈したり、他の材料と混合したりすると、性能低下につながりますので、絶対に避けてください。
□ 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
□ 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。通風をよくし、十分に乾燥養生を行ってください。
□ 凸部分処理工程は、所定時間以内に行わないと、きれいな仕上がりが得られないなどの問題を生じる場合がありますので、ご注意ください。
□ 改装工事に溶剤形の材料をご使用の場合、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ･ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
□ シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢により塗膜が密着しないことがあります。また、シーリング材との取り合いの関係で、塗膜表面にシーリング材の成分（シリコンオイルなど）が付着することにより、表面が汚染される場合があります。施工の際には、シーリング材の取り扱いに注意してください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
□ 水性ミラクシーラーエコは他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
□ 強風時または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下･湿度85％以上の時は、原則的に施工を避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度･被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
□ 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
□ 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
□ 防かび･防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび･防藻性が十分に発揮されない場合があります。
□ かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5（塩素系）」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
□ 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に撹拌してください。
□ 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に撹拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
□ 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
□ 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
□ 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
□ 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
□ 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
□ 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
□ 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
□ ベルアート、弾性ベルアート、ベルアートSiには、材料の特性上、多少の臭気があり、内装で使用する場合には、換気に十分配慮してください。換気ができない場所においては、内装専用のベルアートINを推奨します。

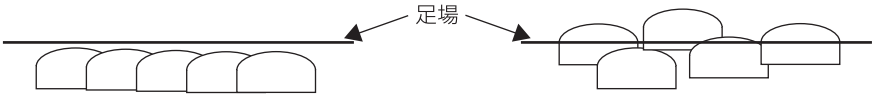
各部位別の注意点と納め方

(1) 大壁面

①必ず装飾養生を入れてください。装飾養生の間隔はたて・よこ1.5～2.0m以内とし、できるだけ細かくとるようにしてください。そして、施工は1スパン毎に行ってください。また塗継ぎは必ず装飾養生内で行ってください。

②同一面を施工する場合は、必ず同一ロットの製品を使用し、その日のうちに施工するようにしてください。また同一の施工者で行うようにしてください。

③パターンの継ぎは上下左右ともランダムな位置で行うようにし、できるだけ揃えないようにしてください。特に足場継ぎをする場合は、パターンが足場に沿って上下ランダムな位置にくるように心掛けてください。

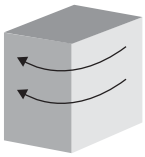


④夏期など気温が高い条件では、表面乾燥が早くなり、パターン付けが困難になることがあります。配り塗り者とパターン付け者がペアになり、配り塗り後ただちにパターン付けができるようにしてください。

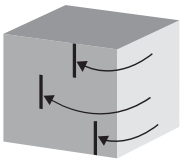
(2) コーナー部

①出隅部にシラスL、シラスAL、シラスFLまたはくし引き仕上げを行う場合は、出隅部を巻くようにパターン付けをしてください。パターンを切る位置は同じ位置にならないようにランダムに切ってください。出隅部分のパターンは、パターン付け後左官ごてで軽く押さえて角を出してください。

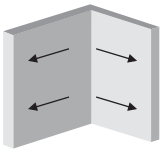
②入隅部は材料の塗溜まりができないように、入隅部分から外に向かってパターン付け（こて、へらを移動する）してください。



出隅部にシラスL仕上げを行う場合、出隅部分を巻きながらパターン付けする。



パターン付け後へらを切る位置はできるだけランダムな位置にすること。



入隅部のパターン付けは、入隅部分から外に向かってパターン付けする。

③出隅･入隅、天井や幅木などとの取り合い部分のちり、はねなどは塗材が乾燥する前にこてまたは刷毛などを使用して整えてください。

(3) 細部処理方法

①細部については、できるだけ装飾養生で納めるようにしてください。むりに小さなこてなどを使用してパターン付けすると、周囲とのパターンが合わないことがありますので注意してください。

②狭い部位へのパターン付けには、目地ごてなどをご使用ください。トラバーチン仕上げの場合、細部のパターン付けには細部処理用の左官ごてをご使用ください。

③施工器具が変わりますと、パターンが微妙に変わることがあります。細部のパターン付けの際は、周囲のパターンと見比べながら、できるだけ合わせるようにしてください。

(4) パターン付け

①パターン付けは、横方向が主流です。縦方向にパターン付けを行う場合、塗り継ぎに連続性が要求されるなど、パターンによっては不向きなものがあります。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。

(5) 補修塗り

①傷等により部分的に補修が必要となった場合は、小さな傷はこて、へら、刷毛などを使用して行ってください。大きな傷の場合は1スパン単位でケレン除去し、再度施工を行ってください。汚れの場合はまず清水または中性洗剤等にて拭き取ってください。汚れが落ちない場合は上記と同様に汚れ部分をケレン除去して補修塗り、または1スパン単位でケレン除去し、再度施工してください。

②補修に使用する材料は、必ず同一ロットの製品を使用してください。

(6) 適用できないまたは注意を要する施工場所、部位

以下に記載した施工場所や部位には施工できません。ご注意ください。

①基礎立ち上がり部、パラペット部。
②面台、手すり壁などの天端。
③たわみ等のある金属板。
④水まわりのある場所、部位。または常時高湿度が予想される、または長時間にわたり結露しやすい場所、部位。
⑤合板下地。

危険情報と安全対策

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないでください。

各種共通

［応　急　処　置］□蒸気を吸入した場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。その後、医師の診断を受けてください。
□誤飲した場合は、直ちに医師の診断を受け、無理に吐かせないでください。
□目に入った場合は、清浄な水で充分洗い流し、痛みが残る場合は医師の診断を受けてください。
□皮膚に付着した場合は、付着した衣服等は直ちに脱ぎ、清浄な水で皮膚を洗ってください。炎症や刺激がある場合は医師の診断を受けてください。
□漏出した場合は、漏出物を速やかに回収してください。

［廃　　棄］□廃材、容器、養生材、ウエス等は、自分で廃棄・焼却せず、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処分を委託してください。
□容器に中身を残したまま廃棄したり、火気を当てたりしないでください。
□有害物質を含みますので、排水路・下水・河川への排出及び地下浸透をしないでください。
□容器を密封し、凍結・直射日光を避け、5～40℃の乾燥した換気のよい場所、及び部外者や子供が出入りできない場所に一定の管理のできる場所を定め、施錠して保管してください。

［保管及び取り扱い］□缶の取手は手提げ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり、危険です。
（製品の種類によって異なる注意事項は、別途、種類別に記載してありますので、参照してください）

［安　全　衛　生］□製品の種類によって異なります。別途、種類別に記載してありますので、参照してください。
また、SDS（安全データシート）もご参照ください。
□取り扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを充分に行ってください。

［施工後の注意］□本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

溶剤形塗料

溶剤形塗料は、特に下記の点にご注意ください。
1．引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2．有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3．業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。
※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

［保管及び取り扱い］□保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱・火花・裸火・高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
□合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
□ご使用の場合、使用機器（電気機器・換気装置・照明機器・工具類）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
□消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると、飛散して危険です。

［安　全　衛　生］□ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物のため、火気厳禁です。
□揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
②容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
③取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って、直接皮膚に触れないようにしてください。
④作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
□施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

硬化剤

硬化剤は、特に下記の点にご注意ください。
1．引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2．有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3．業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。
※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

［保管及び取り扱い］□保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱・火花・裸火・高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
□合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
□ご使用の場合、使用機器（電気機器・換気装置・照明機器・工具類）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
□消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると、飛散して危険です。

［安　全　衛　生］□ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物のため、火気厳禁です。
□揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
②容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
③取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って、直接皮膚に触れないようにしてください。
④皮膚に付着した場合は、速やかに大量の水で洗ってください。また、大量の蒸気を吸入した場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
⑤作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
⑥液がこぼれた場合は、中和剤を散布した後で処理してください。
□施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

希釈用溶剤

希釈用溶剤は、特に下記の点にご注意ください。
1．引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2．有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3．業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。
※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

［保管及び取り扱い］□保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱・火花・裸火・高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
□合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
□ご使用の場合、使用機器（電気機器・換気装置・照明機器・工具類）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
□消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると、飛散して危険です。
［安　全　衛　生］□ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物のため、火気厳禁です。
□揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
②取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って、直接皮膚に触れないようにしてください。
③容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
□施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

水性塗料

［安　全　衛　生］□ ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。
□ 水性塗料（荷姿に★印のついていない製品）の取り扱いには下記の注意事項を守ってください。
①取り扱い場所は換気をしてください。
②取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って、直接皮膚に触れないようにしてください。

エスケー化研株式会社

SK KAKEN

本　　社　大阪府茨木市中穂積3−5−25 ☎072-621-7733　国際事業本部 ☎072-621-7727
東京支社　東京都新宿区高田馬場1−31−18 ☎03-3204-6601　東京開発本部 ☎03-3204-3007

札幌支店☎011-784-4000　千葉支店☎043-304-0411　名古屋支店☎052-561-7712　神戸支店☎078-671-0451
仙台支店☎022-259-2431　埼玉支店☎048-686-2391　京都支店☎075-646-3967　広島支店☎082-278-4951
東京支店☎03-3204-6601　横浜支店☎045-820-2400　大阪支店☎072-621-7721　福岡支店☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094　宇都宮営業所 ☎028-633-9721　横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525　大阪営業所 ☎072-621-7722　北九州営業所 ☎093-621-8505
仙台住宅開発営業所 ☎022-259-2431　東京(港・新宿)営業所 ☎03-3204-6601　厚木営業所 ☎046-294-3666　大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747　福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855　東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602　静岡営業所 ☎054-284-1877　南大阪営業所 ☎072-253-1910　福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380　千葉営業所 ☎043-304-0411　浜松営業所 ☎053-462-7021　神戸住宅開発営業所 ☎078-671-0451　大分出張所 ☎097-523-2861
郡山営業所 ☎024-962-7673　千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413　三河営業所 ☎0564-28-1614　姫路出張所 ☎079-281-5311　長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551　埼玉営業所 ☎048-686-2391　北陸営業所 ☎076-266-1041　岡山営業所 ☎086-242-5520　熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350　埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586　名古屋営業所 ☎052-561-7712　広島住宅開発営業所 ☎082-278-4951　鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210　城東営業所 ☎03-3877-7770　名古屋住宅開発営業所 ☎052-561-7712　山口営業所 ☎083-924-7575　宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677　三多摩営業所 ☎042-564-5806　岐阜営業所 ☎058-273-1981　高松営業所 ☎087-865-5411　沖縄営業所 ☎098-862-5041
水戸営業所 ☎029-251-6515　横浜営業所 ☎045-820-2400　三重営業所 ☎059-236-5101　松山出張所 ☎089-968-7240

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にして下さい。詳しくはもよりの各営業所へお問い合わせ下さい。

URL http://www.sk-kaken.co.jp

特約販売店

［製作年月:2016年8月］（160810.KO−1）